

# 創立30周年記念誌



愛知県学校図書館研究会

# 目 次

創立30周年を迎えて .....	2
学校図書館への願い .....	3
20周年以後のあゆみ .....	4
おもいで .....	14
読書感想文コンクールのあゆみ .....	20
読書感想画コンクールのあゆみ .....	23
東海4県読書ゆうびんコンテストのあゆみ .....	25
学校図書館奨励賞年度別入賞校一覧 .....	26
歴代役員・部長・理事一覧 .....	31
学校図書館研究会貢献者名簿 .....	35
学校図書館研究会功労者名簿 .....	35
会則の変遷 .....	36
愛知県学校図書館研究大会のあゆみ .....	39
東海地区学校図書館研究大会のあゆみ .....	41
全国学校図書館研究大会のあゆみ .....	42
編集後記 .....	44



## 創立30周年を迎えて

愛知県学校図書館研究会会長 中野基文

昭和58年に本会創立20周年記念式典が盛大に行われてから月日がたつのははやいもので、その後10年の歴史を積み重ね本年で30周年を迎えることとなりました。その間社会の変動も大きいものがありましたが、教育界にも新しい息吹きがふきこんでまいりました。新学習指導要領の実施に伴い「心豊かな人間の育成」「基礎基本の重視と個性教育の推進」「自己教育力の育成」「文化の伝統尊重と国際理解の推進」の4つの柱が示され、学校図書館の学校における位置づけが以前に増して重要視されることとなりました。学校図書館の重要性については国会でもとりあげられ「子どもたちの知的な活動をうながし、人格形成や情操を養う上で重要な役割を担っている。特に情報化が進んでいる中で、子どもたちが自ら情報を活用し、学習を進めていく力を育てる上でも学校図書館の果たす役割は大きい。」と首相が答弁したと伝えられています。このような状況下で学校図書館に携わる一人として、子どもたちの生涯にわたる学ぶ力を培うために、学校図書館の在り方について再考しなければならないと新たな力が湧いてきます。

文部省も学校図書館図書標準を見直し、その財源も地方公付税の中に盛りこみ5年間で現在の蔵書の1.5倍にする方針を打ち出しました。本研究会としても、この施策推進のために行政に主旨や現状を十分に理解を得るよう努力しているところです。このようなことから平成5年という年は、新たな学校図書館の出発の年でもあるといえます。30年の歴史を構築された本研究会にかかわってこられた多くの方々のご努力と成果を礎にして、学校図書館のあるべき姿を追求してまいりたいと思います。

子どもたちの読書活動に目を向けてみますと、読書離れが年々増加しているとの報告がされています。悲しいことです。願いと現実の違いを感じながら学校図書館に携わる教師は、学校図書館を魅力あるものにしようと努力しているにもかかわらず、その成果は目に見えてきません。このことは、学校図書館の教育活動への位置づけ、現場教師の共通理解が十分なされていないからだと考えます。学校が変わり、教師が変わらない限り生きて働く学校図書館の位置づけは難しいと思います。本研究会が軸となり、学校を変え、教師を変え、教室で行われる教育活動の在り方を変えていく努力を続けて参りたいと思います。

愛知県学校図書館研究会30周年記念誌の発刊に当たり、30年にわたる本会の活動を振り返って、先輩諸氏の尊いご努力に心から敬意を表します。20年を振り返り、10年を積み重ねる記念誌を作成する仕事の中で、この10年間に新しく加った事業も蓄積されました。読書感想画コンクール、読書ゆうびんコンテスト、これらの実現に諸先輩が努力されている姿を想い頭の下がる気持ちです。最後になりましたが30周年記念誌に尊いご寄稿をいただきました諸先輩に心から感謝申し上げるとともに、愛知県学校図書館研究会の30年の歴史を胸を張って後輩に継承していくことをお誓いし挨拶とさせていただきます。



## 学校図書館への願い

愛知図書館協会会長 保田 幹 男

創立30周年おめでとうございます。

教室内で学んできた語学や数的思考の恩恵は学校教育に帰するものであるが、その他の分野では、学んだものを核として自主的に身に付けることが多い。自主的に学んだことは、それを媒体として知的興奮を楽しむことができ、その結果を印象に残す。その心に残ったものが後日の読書や経験と結びついて、より深く心に刻み込まれ生涯の糧となる。

学校図書館についての私の願いを述べたい。

図書館を訪れて予め求める図書や資料を探す時に、コンピューターは直ぐ対応してくれる。しかし、何となくサブジェクトだけで、その分野の本を楽しみながら探そうとする場合にコールナンバーによる配列では、求める図書群が同一の棚に集められているとは限らないことに会う。コールナンバー法は閉架式に便利であったが、開架式には、利用者に対して、教育的な立場で相談相手になれる有能な司書がいることが不可欠である。書店でも、求める図書群が泣き別れに別々の棚にあったり店員が図書についての知識もなく、ユーザーの質問に全く応じられないのが昨今の実情である。司書は、書を司るのみでなく教師の役割までその教養を高めて欲しいというのが私の願いである。学校のカリキュラムに、図書館利用の科目が入れられないものかと願っている。大学図書館で指定図書制を実施して久しいが、ついに定着しない。米国では指定図書を利用しなければ単位がとれないのに反して、わが国では指定図書を参考図書程度に扱っている。教師が指定図書による教育を受けていないためであろう。低学年の教育でもカリキュラムに図書館利用を取り入れた科目を設けて欲しい。もちろん図書館利用の努力がなされていることは、毎年行われている愛知図書館協会主催の「読書感想文コンクール」において夥しく多数の応募作品が寄せられていることにも見られるし、先生側の、例えば『愛知図書館協会会報144号』川島忠生著、「教科学習に融合した利用指導の実践」にも充分伺える。価値観の多様化した社会においては、学生時代に尊敬できる先生や肝胆相照らす友達を見付けることがむづかしいかもしれない。このような場合も、図書館の図書によってその要求をみたすことも可能であろう。明治時代、派遣団がヨーロッパで見たものは、広場を囲んで教会と官庁が並び立つ姿であった。前者は教育を、後者は行政を担当していた。かつて“チャーチ”を寺院などと訳さないで、教会と置き換えた人は、“チャーチ”の持つ“教える”という機能に対する認識が心底にあったのかもしれない。パリ大学がいまだにソルボンヌ大学と呼ばれ、神学と天文学的色彩が今も色濃く残されているのを見ると、このことが、頷けるように思われる。

ともあれわが国では教会の役割がすべて文部省に付託された。しかし、明治以来家庭の中になお重い教育のしきたりが残っていて文部省の欠落を補ってきた。清岡卓行の著書のなかで「詞礼傳家」の言葉を学んだ。詞と礼は家に伝えられるという意味だそうであるが、戦後、家庭の善良な伝統が崩壊してまだ新しい秩序が家庭にできていない現状では、学校がすべての躰を含めた教育を担当せざるをえない。しかし学校がその要求の全てに答えられる術もないので、私はその欠けたものを図書に期待するのである。

古今東西の書物を広げると、頁の天地に著者の心が香り立つようである。その薫高い書物との出会いの喜びを年若い生徒たちに教えて欲しいと学校図書館教育に期待して筆を擱きたい。

# 20周年以後のあゆみ

59年度



間瀬泰男会長



水野森和事務局長

5. 29 定期総会

半田市立半田小学校長 間瀬泰男氏会長に就任

5. 30 全国学校図書館総会に会長出席

6～12月 学校図書館運営のための実務講習会の開催

各地区・ブロックごとに開催

8. 7～9 第24回全国学校

図書館研究大会

(山口市)に参加

- 会場 山口市市民会館他
- テーマ 21世紀の教育をひらく学校図書館
- 参加者 発表者 3名  
参加者 143名

(県S L A分)



県大会の開会式

8. 20 公共・学校図書館合同研究に参加

- 会場 名古屋市教育館
- テーマ 「蔵書構成と図書選択」

●参加者 40名(県S L A分)

10. 15 第21回愛知県学校図書

館研究大会を開催

- 会場 瀬戸市立南山中学校
- 全体会 記念講演

「読み手の主体性を育てる」

滑川 道夫氏



図書館用品の展示見学者



会場となった南山中学校

- テーマ 「みずから学ぶ意欲と豊かな人間性を育てる学校図書館をつくろう。」
- 分科会 4部会 23分科会
- 参加者 785名
- 特色 公共・学校図書館合同研究集会を第44分科会として実施

2. 9 第30回青少年読書感想文愛知県コンクール表彰式

3. 20 学校図書館研究紀要 No.26号を発行



熱心に討議する分科会参加者

60年度



二宮敏行会長



鈴木秋男事務局長



会場となった連尺小学校



地区別学校図書館実務講習会（岡崎）

- 5. 24 定期総会 於：愛知図書館視聴覚室  
刈谷市立刈谷東中学校長 二宮敏行氏会長に就任
- 5. 29 全国学校図書館協議会総会に二宮会長出席
- 6～12月 地区別学校図書館実務講習会を実施
- 8. 9～10 第22回東海地区学校図書館研究大会（静岡市）に参加
  - 会場 静岡市市民文化会館、市立城内小学校、市立城内中学校
  - 参加者 提案者 11名、県S L Aより参加230名
- 8. 22 愛知図書館協会主催実務講習会に参加
  - 会場 名古屋市教育館
  - テーマ 「子どもと読書—その今日的課題」
  - 参加者 県S L Aより120名参加
- 9. 15 愛知県学校図書館研究会報 No.19号の発行
- 10. 22 第22回愛知県学校図書館研究大会を開催

- 会場 岡崎市立連尺小学校
- テーマ 「生涯学習の基盤と豊かな人間性を育てる学校図書館のあり方」

- 参加者 765名、提案者 38名
- 全体会 講演  
「学ぶこと  
本を読むこと」

児童文学者 鈴木喜代春氏

- 分科会 3部会19分科会
- 特色 学校・公共図書館合同研究集会として「学校図書館と公共図書館の連携」を17分科に設定



全体会・開会式



分科会風景

- 2. 5 全国学校図書館協議会各県事務局長会議に鈴木事務局長出席

- 2. 8 第31回青少年読書感想文愛知県コンクール表彰式

- 3. 15 学校図書館研究紀要 No.27号を発行

\* S.L.B.C（学校図書館ブッククラブ）推進県として参加 第1回362校、348校

## 61年度



中保 進会長



堀内金清事務局長

- 5. 21 定期総会 愛知県立瀬戸高等学校長 中保 進氏会長に就任
- 5. 27 全国学校図書館協議会総会に会長出席
- 5. 27 元愛知県学校図書館研究会会長 間瀬 泰男氏第16回学校図書館賞を受賞
- 6～12月 地区別学校図書館実務講習会を実施
- 8. 4～6 第25回全国学校図書館研究大会（那覇大会）に参加
  - 会 場 沖縄県那覇市民会館、教育会館、ゆうな荘、県立図書館、南部会館など
  - テーマ 「自ら学ぶ力を育てる学校図書館 — 21世紀をひらく教育の創造 —」
  - 参加者 発表者・報告者 7名、参加者 120名（県S L A分）
- 8. 22 愛知図書館協会主催実務講習会に参加
  - 会 場 名古屋市教育館
  - テーマ 「中小図書館及び学校図書館におけるレファレンス」
  - 参加者 150名（県S L A分）
- 8. 24～29 第52回 I F L A（国際図書館連盟）東京大会に参加
  - 会 場 青山学院大学、国立劇場
  - テーマ 「21世紀への図書館」
  - 参加者 中保進会長（世界63ヶ国から2,000名）

### 10. 31 第23回愛知県学校図書館研究大会を開催

- 会 場 金城学院高等学校
- テーマ 「教育の改革にこたえうる  
学校図書館を考えよう」
- 参加者 発表者 40名、参加者 760名
- 全体会 記念講演 「読む文化」  
お茶の水女子大学教授 外山滋比古氏
- 分科会 4部会、19分科会
- 特色 ・PTAによる分科会  
・盲・聾・養護学校の読書指導の分科会



研究大会高校部役員



愛知県読書感想文コンクール表彰式

- 1. 21 全国学校図書館協議会の委嘱研究「学校図書館の運営に必要な用品・用具」研究委員会の発足（全国S L Aより浅井昭治研究第二部長も参加）
- 2. 7 第32回青少年読書感想文愛知県コンクール表彰式
- 3. 15 学校図書館研究紀要 No.28号を発行

## 62年度



栗木紀憲会長



平手事務局長

- 5. 22 定期総会  
小牧市立陶小学校長 栗木紀憲氏会長に就任
- 5. 28 全国学校図書館協議会に会長出席
- 5. 30 全国学校図書館協議会研究委嘱研究委員会発足
  - テーマ 「学校図書館の運営に必要な用品」
  - 期 間 62～63年度
  - 委員長 常滑市立鬼崎中学校 吉田 弘氏
- 6～12月 地区別学校図書館実務講習会を実施
- 8. 17～19 全国学校図書館協議会指導者研修会に参加
- 8. 20～21 第23回東海地区学校図書館研究大会（名古屋市）に参加
  - 会 場 名古屋市公会堂 名古屋市教育センターほか
  - テーマ 「自ら学ぶ態度を養い、豊かな人間性を育てる学校図書館の活動はどうあるべきか」
  - 参加者 328名（県S L A分）
- 8. 26 愛知図書館協会主催実務講習会に参加
  - 会 場 名古屋市教育館
  - テーマ 「館種を超えての図書館活動」
  - 参加者 150名（県S L A分）



開 会 式

- 11. 6 第24回愛知県学校図書館研究大会を開催
  - 会 場 犬山市立城東中学校
  - テーマ 「みずから学ぶ力と豊かな人間性を育成する学校図書館のあり方」
  - 参加者 650名
  - 全体会 講演「サルからヒトへ」

日本モンキーセンター動物園長

小寺 重孝氏

- 分科会 4部会12分科会
- 特 色 PART I、PART IIのセッション方式  
で新しい方法で参加者に好評を得る。

- 2. 6 第33回青少年読書感想文愛知県コンクール表彰式
- 3. 15 学校図書館研究紀要 No.29号発行



分 科 会



昭和62年度委嘱研究打合せ

63年度



浅井 浩会長



数納 操事務局長

5. 24 定期総会

蒲郡市立大塚中学校長 浅井 浩氏会長に就任

5. 28 第39回全国学校図書館協議会総会に会長出席

6～12月 地区別学校図書館実務講習会を実施

8. 3～5 第26回全国学校図書館研究大会（札幌大会）に参加

●テーマ 「自己教育力を育てる学校図書館」

●参加者 100名(県S L A分)

8. 17 愛知図書館協会主催の「実務講習会」に参加

●会場 名古屋市教育館

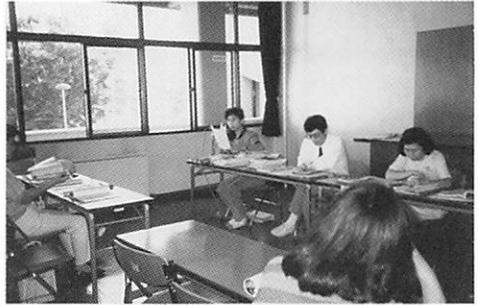
●テーマ 「最近における図書整理の動向」

●参加者 150名

10. 28 第25回愛知県学校図書館研究大会を開催

●会場 蒲郡市立三谷小学校

●テーマ 「みずから学ぶ力と豊かな人間性を育てる学校図書館のあり方」



全国大会で発表する河村恵子先生  
(半田市立半田小学校)

●全体会 記念講演

「それは図書館から始まった  
— 私の仕事30年 —」

●分科会 4部会 13分科会

●参加者 発表者 27名 参加者 750名

●特色 第4部会「特色ある学校図書館の育成」の中で、全国S L A委嘱研究「学校図書館の運営に必要な用品・用具の研究」の成果が発表された。



全体会で記念講演をする今江祥智氏

2. 4 第34回青少年読書感想文愛知県コンクール表彰式

3. 1 全国S L A委嘱「学校図書館の運営に必要な用品・用具の研究」3年間が終了し、報告書を作成し発行

3. 15 学校図書館研究紀要 No.30号発行



会場となった三谷小学校

## 平成元年度



日比紫朗会長



堀内金清事務局長

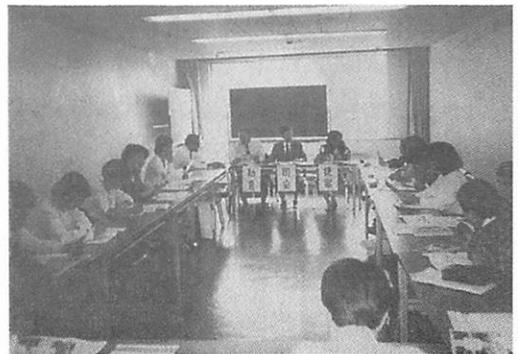
5. 24 定期総会 愛知県立一宮興道高等学校長 日比 紫朗氏会長に就任
5. 24 全国学校図書館協議会総会に会長（代理栗木副会長）出席
5. 24 元愛知県学校図書館研究会会長 栗木 紀憲氏第19回学校図書館賞を受賞
- 6～12月 地区別学校図書館実務講習会を実施
8. 10～11 第24回東海地区学校図書館研究大会（三重大会）に参加
  - 会 場 四日市市文化会館、三重北勢地域地場産業振興センター
  - テーマ 「自ら考え学ぶ力を育てる学校図書館 一児童・生徒をいきいきと活動させる学校図書館のあり方を求めて」
  - 参加者 発表者・助言者・司会者 24名、参加者 160名（本県S L A分）
  - 全体会 情勢報告「学校図書館の現状と課題」  
全国学校図書館協議会 笠原 良郎氏  
記念講演 「書物と絵画」  
三重県立美術館館長 陰里 鉄郎氏
  - 分科会 4 部会、36分科会
8. 17 愛知図書館協会主催実務講習会に参加
  - 会 場 名古屋市教育館
  - テーマ 「学校図書館の運営に必要な用品・用具」
  - 参加者 150名（県S L A分）
  - 講 演 「図書館の設備・備品について」  
全国学校図書館協議会常務理事 浅井 昭治氏

### 10. 27 第26回愛知県学校図書館研究大会を開催

- 会 場 愛知県中小企業センター
- テーマ 「教育の改革にこたえうる学校図書館の充実を考えよう」
- 参加者 発表者 27名、参加者 700名
- 全体会 記念講演 「子どもと本とおとな 一子どもの本専門店から見ると」  
メルヘンハウス代表取締役 三輪 哲氏
- 分科会 4 部会、14分科会
- 特 色 ・学校以外の会場を使用  
・公共図書館関係者の提案発表を設けたこと

### 1. 27 第35回青少年読書感想文愛知県コンクール表彰式

### 3. 15 学校図書館研究紀要 No.31号を発行



分科会

## 2年度



水野森和会長



中野基文事務局長

### 5. 25 定期総会

知多郡武豊町立武豊小学校長 水野森和氏会長に就任

### 5. 29 全国学校図書館協議会総会に会長出席

### 8. 7～9 第27回全国学校図書館研究大会（松江大会）に参加

●会場 島根県民会館

●テーマ 「生涯学習の基礎を培う学校図書館 一自ら学ぶ意欲と心の豊かさを求めて」

●参加者 発表者5名 司会者2名 参加者 208名

### 10. 22 第27回愛知県学校図書館研究大会を開催

●会場

中島郡平和町立

六輪小学校

●テーマ

「みずから学ぶ力  
と豊かな人間性を  
育成する学校図書館  
のあり方」

●参加者 発表者24名  
参加者750名



開会式

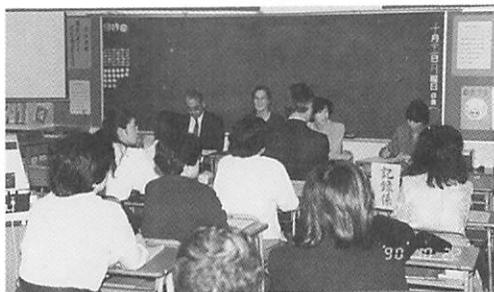
●全体会 講演 「「見える」こととその人間像—民話の本から何が伝えられるか」 児童文学作家 大川悦生氏

●分科会 4部会13分科会

●特色 講義による読後感想のあり方の分科会を設定する



講演する大川悦生氏



分科会風景

1. 23 読書感想画コンクール県審査会を甚目寺小学校で行う

1. 26 第36回青少年読書感想文愛知県コンクール表彰式

3. 15 学校図書館研究紀要No.32号発行



読後感想のあり方を講義する水野寿美子氏

## 3年度



鈴木秋男会長



島崎和美事務局長

- 5. 22 全国学校図書館協議会総会に鈴木秋男氏 会長予定者として出席
- 5. 24 定期総会 於 愛知県図書館・大会議室  
岡崎市立常磐東小学校長 鈴木秋男氏会長に就任
- 6～12月 地区別学校図書館実務講習会を実施
- 8. 8～9 第25回東海地区学校図書館研究大会（岐阜県大垣市）に参加

- 会 場 大垣女子短期大学
- 参加者 提案者11名、  
県S L Aより  
参加250名



東海地区大会（大垣市）

- 8. 21 愛知図書館協会主催・  
実務講習会に参加
- 会 場 愛知県図書館  
大会議室

- テーマ 「図書の選択について」
- 参加者 県S L Aより200名参加

- 10. 25 第28回愛知県学校図書館研究大会を開催

- 会 場 安城市立新田小学校
- テーマ 「自ら学ぶ意欲と豊かな心を育てる学校図書館」
- 参加者 680名、提案者 26名



県大会開会式

- 全体会 講演 「読書という名の旅」  
児童文学者・船崎克彦氏

- 分科会 4部会、13分科会

- 特 色 読書指導35分科会に「ブックトークのあり方」  
を設けた

- 1. 18 第37回青少年読書感想文愛知県コンクール表彰式
- 1. 28 愛知県学校図書館研究会報 No.24号の発行
- 2. 15 全国学校図書館協議会各県事務局長会に島崎事務局長出席
- 3. 16 学校図書館研究紀要 No.33号を発行

※1991年度読書感想画コンクールの実施（10月～12月）

※第1回東海4県読書ゆうびんコンテストの実施（3月～6月）

※S.L.B.C.（学校図書館ブッククラブ）推進県に参加、第1回468校、第2回454校



全体会で講演する舟崎氏



分科会風景

## 4年度



深川恵造会長



堀内金清事務局長

- 5. 26 定期総会 愛知県立五条高等学校長 深川 恵造氏会長に就任
- 5. 27 全国学校図書館協議会総会に会長出席
- 6～12月 地区別学校図書館実務講習会を実施
- 7. 29～31 第28回全国学校図書館研究大会（福岡大会）に参加
  - 会場 福岡サンパレス、市民図書館、商工会議所、県立図書館など
  - テーマ 「学び方の教育を推進する学校図書館－学習・情報センターとしての機能の拡充をめざして－」
  - 参加者 発表者・報告者・司会者 17名、参加者 118名（本県SLA分）
- 8. 26 愛知図書館協会主催実務講習会に参加
  - 会場 愛知県図書館
  - テーマ 「子どもと本」 児童文学作家 岡田 淳氏
  - 参加者 150名（県SLA分）
- 9. 19 第1回東海四県読書ゆうびんコンテスト表彰式
- 10. 30 第29回愛知県学校図書館研究大会を開催

- 会場 金城学院高等学校
- テーマ 「みずから学ぶ力と国際感覚を育てる学校図書館」
- 参加者 発表者 28名、参加者 700名
- 全体会 記念講演 「本は心の旅」  
岐阜教育大学講師 窪田 守弘氏
- 分科会 4部会、14分科会



研究大会全体会講師講演



研究大会分科会



研究大会会場

- 11. 17～19 第78回全国図書館大会に参加
  - 会場 愛知芸術文化センター、愛知県芸術劇場、名古屋市女性会館など
  - テーマ 「新しい図書館の世紀をひらこう ー日本図書館協会100周年を迎えてー」
  - 全体会 記念講演 「図書館の現状と将来」 愛知芸術文化センター総長 飯島 宗一氏
  - 分科会 13分科会（この中の第5分科会を県・市SLAが担当）参加者 252名
- 1. 16 第38回青少年読書感想文愛知県コンクール表彰式
- 3. 15 学校図書館研究紀要 No.34号を発行

## 5年度



中野基文会長



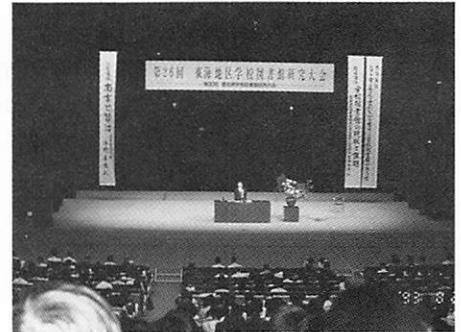
馬場隆敏事務局長

- 分科会 3部会、28分科会（他に、講演・見学コース）
- 参加者 発表者13名 参加者825名



研究大会分科会

- 9. 18 第2回東海4県読書ゆうびんコンテスト表彰式
- 1. 22 第39回青少年読書感想文愛知県コンクール表彰式
- 2. 19 愛知県学校図書館研究会「創立30周年」記念式典
  - 会場 愛知会館
  - 参加者 70名
- ※「創立30周年記念誌」発刊
- 3. 15 学校図書館研究紀要 No.35を発行
  - ※1993年度読書感想画コンクールの実施（10月～12月）
  - ※S L B C（学校図書館ブッククラブ）推進県に参加



全体会・開会式



研究大会分科会

- 5. 25 定期総会
  - 稲沢市立大塚小学校長 中野基文氏会長に就任
- 5. 28 全国学校図書館協議会総会に会長出席
- 6～12月 地区別学校図書館実務講習会を実施
- 8. 18 愛知図書館協会主催実務講習会に参加
  - 会場 愛知県図書館大会議室
  - テーマ 「図書館員の役割と図書館協力」
  - 参加者 150名（県S L A分）
- 8. 24～25 第26回東海地区学校図書館研究大会（半田大会）  
（第30回愛知県学校図書館研究大会）
  - 会場 半田市福祉文化会館他
  - テーマ 「自ら学ぶ意欲と豊かな心を育てる学校図書館のあり方を求めて」
  - 全体会 記念講演  
「南吉と賢治」  
児童文学作家  
浜野 卓也氏

# おもいで

## いまにして想えば



元会長 長谷川 丈 夫

原稿依頼があつてから、書棚をあさっていたら、「創立20周年記念誌」が出て来た。もうそれから10年の歳月が流れた。昔なつかしい方々の顔写真・大会光景・研究実績等々、懐かしさもひとしおのものを感じ、当時をしばし想いめぐらす機会を得ることが出来た。

さて、自分自身を振り返ってみると、図書館活動における現場での実績もなく、組織の現況も充分把握しないまま、よくも大役が務まったことだと、悔まれてならない。

いつの時だったか、先輩校長のカバン持ちで、ついて回わりをしていたある日のこと、先輩から、「ぼくの後をやってくれないか。」と、言われたが、素直に受け入れるだけの自信はなかった。ところが、つい押し切られる破目となった。しばらく苦しい日々が続いたことは、覚えている。

読書についての興味や努力は、自分なりにあったと思うが、さて組織的な活動となると、まったく乏しいありさまであった。

それだけに、学校図書館研究会内での活動にあたっては、不安も抵抗も大きかった。

いよいよ会長を引き受けるにあたっては、経験豊かで力量もある多くのみなさんのご支援によって、どうにかまがりなりに、自分の責めを果たし得たことは、まぎれもない事実であり、心から感謝をしたい。

なお、学校図書館研究会に足を踏み入れさせていただいたお蔭で、人間性豊かな多くの方々に接することが出来たことは、長い人生の中での大きな収穫ともなった。



## 蠅 螂 の 斧

元会長 鈴木 満

SLAという略語も知らなかった私が、県の校長会から、学校図書館係りを命ぜられたのは昭和55年の春であった。図書館関係の校務を、一度も担当したことのなかった私にとって、定年までの5年間、お先まっ暗の感がしたことを、今でも覚えている。初めての会合で、先生方は、殆どがこの道のベテラン、実習助手は全部が図書館一筋というのである。とびかう単語も、私には始めて聞く術語が多く、聞き返すこともできない私は、どんなに心細かったか。それが、どうやら職務を終えることができたのは、山崎・堀内・堀江、その他優秀な先生方に、手をとるように教えていただいたおかげと、今さらながら感謝している。

在任中、いちばん思い出に残るのは、SLAとALAとの分離問題である。県内の生徒から相当額をALAに納入させ、SLAはその下部構成として運営されていることに疑問を持った私は、全国のその関係を調査したが、本県のような関係は殆ど無かった。会員に尋ねてみると、中には、大所高所からみて、ALAに協力することが図書館そのものに役立っている、という考え方もあったが、私はそう思えなかった。SLAはSLAだけで運営すべきで、一般図書館に納入しているお金を、もっと生徒に還元し、生徒のためになる行事を考え実行するのがよい、と考えたのである。会員の皆さんに尋ねて、そういう意見に賛成していただいたが、所詮は、蠅螂の斧、県教委・ALAの反対にあつて実現できなかった。しかしこの一石は、ややもすればマンネリに流されようとしているSLAに、反省の余地を与えたと、自己満足している。

(元 旭野高校長)



## 私の中の学校図書館史

元会長 間瀬 泰男

「思い出」ということであるが、私にとっての学校図書館というのは、昭和二十三年に教職に就いたとき以来のつきあいであり、その中から愛知県学校図書館研究会三十年を切り取って思い出そうとしても、それとの関わりの部分がうまく離れてこない。離れてきたとしても、芋蔓状につながっているのを描くには紙数が足りない。ただ、私の時代は、平成元年三月で一応切れているから、創立からの二十六年間ということになる。この間、昭和六十一年にこの会から推薦いただき、全国学校図書館協議会日本学校図書館振興財団から「学校図書館賞」をいただいたことは「報われたか」という感懐が湧き、ありがたいことであった。

私は、学校図書館初期のころから、資料センターとしての学校図書館、学習センターとしての学校図書館を提唱してきており、当時の文部省図書館指導担当の教科調査官深川恒喜氏から激励いただいたことは忘れられない一つである。しかし、これは、昭和三十四年。小中学校における学校図書館利用の手引き（文部省）に執筆したのも昭和三十六年と、この会の創立以前の古い昔話である。が、ここで触れておきたいのは、この編集に当たられた深川氏が途中で東京学芸大助教授に出、愛知県豊橋出身、司書教諭第一号の井沢純氏が文部省入りされて、この仕事を引き継がれたことである。このことは、図書館王国(?)愛知の代表を出したという感じで、みんな快哉を叫んだものである。

学校図書館の歩いてきた道も決して平坦なものではなかったが、文部省もやっと図書館にスポットを向け始めた昨今である。諸賢のいっそうの御活躍を祈る。



## 学校図書館研究会の歩みの中で

元会長 二宮 敏行

今回、中野会長さんから学校図書館研究会30周年誌編集のお便りをいただいて、もうあれから10年経ったのかと、今更のように月日の流れの早さを身にしみて感じました。10年一昔という言葉の通り、記憶も確かでないこともありますが、私なりに掘り起こしてみたいと思います。今真っ先に思い出しますのは、1984年に全国学校図書館協議会から「21世紀を生きる教育を」という提言が行われ、学校図書館の見直しが進められました。こうした動きの中で、本県では学校図書館研究会と図書館協会との関わりが問題になり、館種別に12名の委員による将来検討委員会が組織され種々論議されました。しかし、短期間での論議のせいもあり、十分な成果をあげたとは言えないものの報告書をまとめ、会員の方の了承を得られたのがよかったです。とも角これによって、学校図書館とその他の図書館と連携を保つことができたのですから。それから1985年(昭和60年)10月、第22回愛知県学校図書館研究大会を岡崎市立連尺小学校で開催できたことが思い出されます。この研究大会では「生涯教育の基盤と豊かな人間性を育てる学校図書館のあり方」をテーマに19の分科会を設けました。幸いにも県下各地から765名の先生方の参加を得、盛大にできたことが印象に残っています。こうした会を主催するという事は本当に大変なことですが、三河部の学校図書館の先生方そして会場校の皆さんの方の献身的なご尽力のおかげがあったからこそと思っています。さまざまなことがありましたが、いざにしても私と学校図書館との30年は、多くの素晴らしい人たちとの出会いと協力の積み重ねだったと感謝の気持ちでいっぱいです。



## 第52回国際図書館連盟東京大会の思い出

元会長 中 保 進

IFLAと呼ばれている世界大会が、1986年52回目に初めて日本で開催された。会場は青山学院大学、開会式は国立劇場、歓迎レセプションはホテルニューオータニ、参加者は64か国から600人、国内800人。開会式は宮内庁の雅楽で始まり、永井道雄組織委員長、IFLAゲー会長の挨拶、皇太子殿下（現天皇）のお言葉、藤尾文部大臣の祝辞などがあつた。基調講演の英語を同時通訳のイヤホンで聞くが、英語と日本語が同時に耳に入ってくるので実に聞きづらい。レセプションにも皇太子殿下御夫妻がお見えになったので、3年前愛知県陶磁資料館で御説明したことを申し上げると、「その節はありがとう」というお言葉をいただいたのは光栄であつた。

翌日分科会の一つ読書研究Ⅰに出席、約60人。司会が西ドイツ人、発表者がソ連女性とイギリス人、事前に日本語訳のレポートが渡されているので、質疑応答を通訳がした。後者の発表は「気質による読書心理学」である。経験の一つと思い、勇気を出して質問をした。数冊を並行して読書するタイプと1冊を完読するタイプは気質的に異なり、後者は粘液質タイプであるという答であつた。

その翌日は日比谷高校図書館に行く。休憩時シンガポールの若い女性が英語で話しかけてくる。ノーチャという単語が分からない。彼女が近くの英和辞書を持ってきたのを見ると、不従順とある。日本の若者が不従順なのはなぜかと聞く。近くにいた日本人の女性が英語で答えてくれたので助かったが、恥ずかしい思いをした。ソ連人もドイツ人も英語を話すので、これからはバイリンガルでなくては国際大会に出れないということを痛感した次第である。（現 名古屋女子商科短期大学教授）



## 懐しくそしてありがたく

元会長 鈴 木 至

回想の事をとってまず思い出されることは、唐突の部長就任要請とその後県下広く小中学校関係諸先生から寄せられたご支援、栄図書館皆様のご厚情の数々である。

県教委出向を解かれて豊川市最後の校舎改築整備校となった桜木小に着任し、市建設部局との打合せが始まった矢先の就任要請であつた。職務内容がよく分からないこともあって苦労したが、重ねて校長会からの要請もあって結局承引したのだが、実際に会議に出てみると職責の容易でないことを知らされた。高校・尾張・名古屋・三河から各1名が部長に就いたように覚えているが、最も大量かつ長期にわたる事業—読書感想文コンクール部門が私の担当ということで、若いころ図書館主任として何年か夜遅くまで働いた位の経験では全くお手上げであつた。

県下全小中学校と併せて勤労青年も対象に感想文募集の案内から始まり、地域審査の依頼手続き、さらに中央審査会の設営、続いて県中央表彰式の準備と次々、まさに中断なく仕事に追かけられた。表彰式に贈る記念品を何とかしたいと出版関係を回ってお願いしたことも辛いような懐しいような思い出のひとつまでである。

61～62と読感部を背負つての2年間は、小中高、尾張名古屋と分け隔てなく本当に暖かいご協力をいただき、また協会側、市立や大学の図書専門官の方々のご懇情にも支えられて何とか務め得たというのが本当のところである。とりわけ裏方として親身になって支えてくれた栄図書館の狩野司書専門官始め皆さんの手とり足とりのご教示は今もってありがたくかつ懐しく思うばかりである。



## おもいで

元会長 栗木 紀 憲

ところどころ虫が食い、赤茶色に変色したワラ半紙に青インクで書かれた印刷物を、私は今も大切に持っています。冥土へ行く時も持って行くでしょう。それは、1963年の、愛知県学校図書館研究大会での、私の提案要項なのです。「資料センターとしての学校図書館づくり」の実践結果の発表であり、これが、私の図書館人生への出発でした。この年に、愛知県学校図書館研究会の発足を見、以来、諸先輩の指導のもとに、研究会のメンバーの仲間入りをさせていただきました。

私は、歴代会長や、部長を支える事務局の仕事が長かったのですが、「SLを動かすために、石炭をくべる役に」「研究者・実践者を助ける縁の下の力持ちに」なろうと、ずっと努力したつもりです。

また、私自身も、学校図書館教育の研究・実践者になろうと赴任先々の学校で頑張りもしました。

今思いますに、図書係りから33年、よくも学校図書館一筋に、過ごして来たものだと思っております。これは、全国に誇れる、すばらしい、愛知県学校図書館研究会のおかげなのです。1989年に「学校図書館賞」1990年に「中日教育賞」を受けましたが、これは、私ではない、研究会が受けたものだと、今でもそう思っています。

退職後、一宮女子短期大学で、「学校図書館通論」や「利用指導」、「青少年の読書と資料」などの講座をいただいて、若い学生に、図書館の大切さを、熱っぽく話し、訴えております。創立30周年を機に、更に新しい研究会づくりに、一丸となって前進されますよう、ご期待申しあげ、我が愛する、愛知県学校図書館研究会のますますのご発展を心からお祈りいたします。



## 天の声

元会長 浅井 浩

県SLA研究大会が蒲郡市で開くことに決まった昭和61年秋、地元の役員と連れだって、幾つかの会場候補校を見て回ったことがあります。学校図書館が魅力的なものになっているかどうかを見るためでした。その折、こんなことがあっていいのかとたいへん驚いたことは、教員でありながら自分の学校の図書館がどこにあるかを知らない、案内もできない職員に出会ったことでした。幸い、研究大会そのものは、交通至便な三谷小学校が会場となり、地元・役員の方々の皆様の抜群の支援と協力で盛会・好評裏に終えることができましたが、これは私にとって大きなショックでした。

ところで、「図書館人」という言葉を聞くことがあります。もしそれが、学校図書館の実務を担当し、自らはあまり本を読まず、校内で影響力を発揮しない教員をさすとしたら、淋しいことです。それでは、いくら利用指導、読書指導をお題目として唱えても、学校全体として大きな力とはなり得ません。図書館教育は、教師にとってこそ必要ではないか、と思うわけです。

最近、新聞紙上に、政官財の癒着、ゼネコン汚職とかかわって、「天の声」に弱い日本人の一面が露呈されました。この「天の声」なるものを、学校図書館教育の推進のために活用する手だてではないものか。図書館教育の改革について、担当者が一人ぼそぼそ言っているのではなく、まずは3～4人の同志を作る。そして身近な研究主任・教務主任あたりに働きかけて、学校図書館が本物の教育づくりにいかに大切な役割をもつかを熱っぽく筋道だてて説く。手順と計画も示す。そして、最後は、「天の声」をひきだすようにもっていくというわけです。諦めず、やってみる価値はありそうです。

(桜丘高等学校特別講師)



## 憶い起こすこと

元会長 日比紫朗

最初に図書館の仕事に就いたのは、県立津島高校へ赴任して間もなく、20代末の頃だった。3年間励んで校務上の縁は切れたが、利用はよくさせてもらった。

昭和59年に愛知図書館へ転任し、奉仕課長として3年間勤務した。ALAの事務局員を兼ねることで関係機関や図書館関係の方々とのつながりを深めさせていただいた。SLAの皆さんとは、研究大会の場で高説を拝聴することができ、学校図書館の重みを更めて認識したことを忘れない。もう一つ憶い出すことは、当時ALAの組織内に不協和音が生まれており、その収拾に動いたことである。これは当事者皆さんの良識で霧消し、組織間の連携がいよいよ密になって、今日に至っている。

昭和62年、県立一宮興道高校着任とともに、図書館の充実に心掛けた。同時にSLA高校部会のまとめ役をさせていただいた。読書感想文コンクールの作業量の大きいことをあらためて知らされ、乏しい経費と時間をやりくりしながら事を進められる先生方の姿を心底から尊いものと感じた。研究大会その他の行事・事業を進めるなかでも同じ思いを味わった。この間、組織間の軋轢にここでも直面した。全国SLAから読書感想画コンクールの開催を持ち込まれたのである。これまた役員の方々のお骨折りで軌道にのり、その活動は今日に及んでいる。

図書館との関わりのおかげで得たものは大きかった。一校が独自に図書館をよくしようとする試みは貴重だが、その成果には限りがある。図書館もまた組織のなかで育っていく。そして組織は組織と連帯・協調することでその活動を広め、深めていくことを身に染みて知ったのである。

(現 愛知文教女子短期大学教授・図書館長)



## 学校図書館活動の充実にむけて

元会長 水野森和

私が学校図書館と関わりを持ったのは、昭和32年度、今現在勤めている武豊小学校へ赴任した年からでした。以来、今日までの36年間余り、何らかの形で学校図書館とおつき合いして来ました。

思えば、昭和30年代は、昭和28年に公布された学校図書館法、そして、その背景をなす新しい教育のあり方への模索の時代で、図書館の関係者は一種高揚した気持ちで図書館づくりに励み、周囲もそれを期待していた時代でした。私の学校でいえば、図書館さえも普通教室へ転用せざるを得なくて、廊下に書架を並べたり、講堂のステージ裏の小部屋を活動拠点にしたりもしました。しかしなお、学校全体から見捨てられたとか軽視されたとかいう思いはなく、図書館の係りはみな意気軒昂たるものがあり、子供達も、よくそれにこたえてくれたものでした。

以来、そのときどきの事情と流れはあったものの「学び方を学ぶ」という精神と、一人ひとりを大切にする指導には学校図書館の充実と活用が欠かせないという思いで、今日まで歩いて来ました。

いくつかの研究会や講習会での提案・助言・司会・講師。そして、そうした会の設営・運営。地区や尾張や県の組織の仕事など、それなりの苦労はあったものの、今思えば張合いのある日々でした。

いま、学校図書館の施設・設備の充実は、30数年前とは隔世の感があるものの、活字ばなれしがちな子供達への読書習慣の定着・学習形態の改善とそれへの充実な対応策など、まだまだ努力しなければならない点が多々あります。個性の尊重・自己教育力の育成等のかけ声の中で、文部省も動きを見せはじめています。さらに、学校図書館活動の充実にむけて前進したいものです。



## 『読書ゆうびんコンテスト』の実施で

元会長 鈴木 秋 男

平成3年度は、情報化社会にあって一新した姿でオープンした愛知県図書館大会議室での定期総会に始まった。会費の値上げで、研究会の運営にもゆとりが出て、前年度から実施している読書感想画コンクールも予算化することが出来た。さらに、かねてより申し込みのあった中日新聞社主催の読書意欲喚起の事業「東海4県読書ゆうびんコンテスト」を受け、実施することにした。

この『東海4県読書ゆうびんコンテスト』の実施への経過を参考までに記して置く。

平成2年末、中日新聞社より正式に「愛知県の小・中学生を対象に『読書感想イメージコンクール』を実施したい。学校図書館研究会で協力してほしい。」と、申し出があった。しかし、当研究会では、全国S L A・毎日新聞社の主催する『読書感想画コンクール』を実施に移したばかりで、同種類の事業にはと、難色を示し、全国S L Aと話し合うようにと逃げた。結果、感想画は駄目であり、これに代わる案として示されたのが、『読書ゆうびんコンテスト』である。それも、愛知県のみでなく東海地区全域に広げということになり、6月下旬、全国S L Aより浅井理事が説明に出向され、さらに8月下旬、全国S L A・東海4県・名古屋市会長・事務局長と中日新聞社で話し合い、実施案を作成した。以後、関係機関の了解を得るべく訪問し、実施への準備を重ね、平成4年3月実施とした。

こうして実施に移したわけだが、この事業はあくまでも中日新聞社が主体で、当研究会は協力するという形になっている。もう一つ、賞については、応募状況により将来は各県ごとに考えてもよい。という条件で始めたことである。



## 第21回東海地区学校図書館研究大会の思い出

元事務局長 山 崎 義 周

昭和58年8月19・20日、尾張旭市の小中高校の全面的協力の下、尾張旭大会が開催された。

東海大会は隔年開催であるから、準備は前年、前回開催の岐阜県土岐市を訪ねてから本格的に始まった。テーマは「児童生徒の豊かな人間性の育成に資する学校図書館活動を考えよう」と決まり、昭和28年に学校図書館法成立以来30年という年に当たっていたため、その間のS L Aの発展の歴史を踏まえた研究と展望が趣旨となった。会場は、旭中、旭小とその近くの尾張旭市文化会館が尾張旭市の中心部にあり、旭野高校だけは少し離れていたが、まずは便利な立地であった。

大会事務局の業務は、正直、多忙であった。担当部会である高校部会内部での打ち合わせと、三河・尾張との協議が同時に進行するため、どうしても会議会議の連続となる。それに当然、大会役員・分科会役員の委嘱や案内、会場設営と運営の詳細案の検討、大会資料の原稿依頼から編集・発行、参加申込者の受付と名簿作成などの狭義の事務局業務が日を追って増加する。その上4月には学年が改まり人事異動があるため、細部はそれまでは決まらない。未知の要素が次から次へと発見される業務だが、その2年前に教科の国語教育研究会の全国大会名古屋大会を、実行委員長の鈴木校長とコンビで手がけてきた経験も役に立ったようだし、実行委員各位の積極的な協力もあって、まずは円滑に進行できたと思う。

大会当日は、高校部会の名瀬地区の役員を中心に準備運営に当たったが、全体会と28の分科会に千二百名を超す参加者を得て盛会裡に終了することができ、ホッとしたことを今も覚えている。

(現愛知県立千種高等学校)

# 読書感想文

## コンクールのあゆみ

昭和29年、愛知図書館協会の一事業としてスタートした読書感想文の募集は、翌30年から全国SLA・毎日新聞社主催の青少年読書感想文全国コンクールが始まるとともに、それに合流し、県コンクールとして今日に至っている。この間、勤労青少年部の新設・部門別の制定・第3類の新設の変遷があった。

読書感想文は、児童生徒が一冊の本と出会うことによって、その子の感じ方や考え方に影響を与え、豊かな人間性の形成に資するものである。また、その子の今までの読書生活を見つめなおし、これからの読書生活を考える場でもありたい。

愛知県は、第1回の全国コンクールのときより輝かしい成績を収めている。ここ10年間においても、第38回では内閣総理大臣賞を、第32回では文部大臣奨励賞を獲得したのを始め、毎年2～3点ずつ入賞をはたしている。

応募校は昭和62年度の1,192校を、応募点数は昭和63年度の731,233点を頂点として、以降、若干の減少傾向である。これは児童生徒数の絶対数の減少と、平成元年度から読書感想文コンクールの事業が始まったことが理由として考えられる。

校種別	年度回数	58 (29)		59 (30)	
		学校数	応募作品点数	学校数	応募作品点数
小学校		699	420,468	708	381,927
中学校		273	207,067	284	207,430
高等学校		136	86,625	137	113,616
盲・聾・養護学校		34	2,024	12	1,009
合計		1,142	716,184	1,141	703,982
全国コンクール入賞者		◎毎日新聞社賞 ●小学校・高・1類 「『モチモチの木』とわたし」 江南市立宮田小学校 5年 泉 香織 ◎全国学校図書館協議会長賞 ●小学校・低・1類 「『かわいそうなぞう』をよんで」 蒲郡市立塩津小学校 1年 石黒利充 ●小学校・低・3類 「『おやつがほーいどっさりほい』をよんで」 豊橋市立牛川小学校 1年 萩野敦紀		◎毎日新聞社賞 ●小学校・低・1類 「『あつおのぼうけん』を読んで」 蒲郡市立塩津小学校 2年 石黒利充 ◎全国学校図書館協議会長賞 ●小学校・低・2類 「みずのなかのいきものだいすき」 常滑市立鬼崎北小学校 1年 吉川則夫	

年度 回数 校種別	60 (31)		61 (32)		62 (33)		63 (34)	
	学校数	応募作品点数	学校数	応募作品点数	学校数	応募作品点数	学校数	応募作品点数
小学校	715	401,070	715	368,980	716	376,629	716	381,238
中学校	292	219,041	297	238,377	305	230,091	307	231,015
高等学校	129	107,440	138	114,481	144	115,531	135	118,382
盲・聾・養護学校	27	558	27	487	27	573	33	598
合計	1,163	728,109	1,177	722,325	1,192	722,824	1,191	731,233
全国コンクール入賞者	◎毎日新聞社賞 ●小学校・低・2類 「『ことばあそび』をよんで」 江南市立草井小学校 1年 須賀 健 ◎全国学校図書館協議会長賞 ●小学校・低・3類 「がんばれ小さな命」 知多市立新田小学校 3年 小田島 暢之		◎文部大臣奨励賞 ●中学校1類 「『走れメロス』を読んで」 豊田市立若園中学校 1年 横山 洋 ◎全国学校図書館協議会長賞 ●高校1類 「『ベスト』を読んで」 県立丹羽高等学校 3年 佐々木 美奈津 ◎毎日新聞社賞 ●高校3類 「『ニンゲル』を読んで」 県立半田高等学校 2年 横尾 暁子		◎全国学校図書館協議会長賞 ●高校3類 「白夜の国のヴァイオリン弾き」を読んで 金城学院高等学校 1年 武田 恵子		◎毎日新聞社賞 ●小学校・低・2類 「すずむしのふしぎ」 北設楽郡東栄町立奈良小学校 1年 平畑 茂樹 ◎全国学校図書館協議会長賞 ●中学校1類 「モモ」を読んで 安城市立桜井中学校 3年 柴田 美穂	

校種別	元 (35)		2 (36)		3 (37)		4 (38)	
	学校数	応募作品点数	学校数	応募作品点数	学校数	応募作品点数	学校数	応募作品点数
小学校	722	322,446	728	351,944	725	281,110	725	299,145
中学校	300	207,136	302	218,289	302	173,507	303	169,307
高等学校	135	109,681	136	90,051	131	98,709	134	96,544
盲・聾・養護学校	15	358	12	342	13	488	13	566
合計	1,172	639,621	1,178	660,626	1,171	553,814	1,175	565,562
全国コンクール入賞者			◎毎日新聞社賞 ●高校1類 「大地」を読んで 県立津島高等学校 2年 鈴木美穂 ◎全国学校図書館 協議会長賞 ●小学校・高・1類 「ないた赤おに」 を読んで 豊橋市立富士見小 学校 4年 谷口大介	◎毎日新聞社賞 ●小学校・低・2類 「くさる」を読んで 犬山市立城東小 学校 2年 奥村亮平 ◎全国学校図書館 協議会長賞 ●中学校2類 「生命誕生」 岡崎市立南中 学校 3年 高村淑子 ●中学校3類 「床下の古い時計」 碧南市立南中 学校 1年 杉浦伊織	◎内閣総理大臣賞 ●小学校・低・1類 「どきん」を読んで 刈谷市立平成小 学校 3年 長谷川智子 ◎毎日新聞社賞 ●高校3類 空の星として輝く ためにー「空の ない星」を読んで 県立半田高等 学校 2年 岩間晶子 ◎全国学校図書館 協議会長賞 ●小学校・低・2類 「ぼくはどこか きたの」 清洲町立東小 学校 3年 内田康広			

# 読書感想画

## コンクールのあゆみ

読書感想画は、読書によって得た感銘や感想、さらにそれから発展した情景や幻想を絵画表現するものである。心のうちにあるものを絵画として表現するために、子供なりの苦心や楽しみがあり、それが読書力・表現力を養い、読書活動をさらに楽しく充実したものになるに違いない。

また、新学習指導要領で、「感じたことや思ったことを絵や立体に表現する」（小学校）「感動、想像による主題の表現」（中学校・高校）がうたわれており、まさに読書感想画は、これに直結しているものであると考えられる。

読書感想画の募集は、平成元年に全国学校図書館協議会と毎日新聞社の主催の読書感想画中央コンクールに合流し、県コンクールとして今日に至っている。

夏季の読書感想文に続いて、冬季は読書感想画ということで、年間を通して読書活動を活発にしたいという考えですすめられている。

第1回は、小・中・高校生からの応募を県一本で審査し、優秀作品（優秀賞3点、優良賞8点、佳作21点）を表彰し、そのうち11点を中央コンクールに出品。なお、応募区分は、4部8区分で、その内訳は、小学校低学年・小学校高学年・中学校・高等学校の4部で、部毎に自由読書と指定読書に区分した。

第2回からは、県SLAの事業として、三河と尾張地区に分けて審査し、表彰するようになった。

第3回以降は、本県における優秀作品を会報に掲載するようになった。

第4回には、表彰者の数が、優秀賞8点、優良賞42点、佳作64点で、合計114点となり、16点を中央コンクールへ送付した。

今後も、じっくり本を読みこなし、形・色・構図などに本の重みを感じさせるような生き生きとした表現が生まれることを期待したい。

年度回数 校種別	平成元 (1)	
	学校数	応募作品点数
小学校		1,491
中学校		80
高・聾・養護学校		6
優 秀 賞 入 賞 者	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 岡崎市立六名小学校 1年 仲井友昭</li> <li>● 一宮市立葉栗小学校 4年 石井優一</li> <li>● 扶桑町立扶桑中学校 1年 寺嶋実希</li> </ul>	

年度 回数 校種別	2 (2)		3 (3)		4 (4)	
	学校数	応募作品点数	学校数	応募作品点数	学校数	応募作品点数
小学校	172	48,160	302	71,484	441	71,402
中学校	88	14,080	90	14,580	66	4,927
高・聾・養 護学校	12	184	38	189	17	158
優秀賞 入賞者	<ul style="list-style-type: none"> <li>●武豊町立衣浦小学校 2年 青木英祐</li> <li>●岡崎市立恵田小学校 3年 中根俊治</li> <li>●東海市立渡内小学校 4年 堀田真由</li> <li>●安城市立二本木小学校 5年 国兼憲一</li> <li>●常滑市立鬼崎中学校 3年 斎田和宏</li> <li>●豊田市立豊南中学校 2年 宇野依里</li> <li>●県立福江高等学校 2年 中神由香</li> <li>●県立起工業高等学校 3年 船戸明里</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●大府市立神田小学校 3年 平松慎吾</li> <li>●豊橋市立下地小学校 1年 中村玄</li> <li>●豊田市立小清水小学校 5年 永田尚子</li> <li>●一宮市立今伊勢小学校 5年 松岡美希</li> <li>●知多市立八幡中学校 3年 斉藤ひろみ</li> <li>●蒲郡市立大塚中学校 3年 太田陽子</li> <li>●県立明和高等学校 2年 長野方星</li> <li>●県立阿久比高等学校 2年 竹内知里</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●岡崎市立藤川小学校 1年 森山千恵</li> <li>●瀬戸市立長根小学校 2年 栗木甲</li> <li>●半田市立宮地小学校 4年 平松美鈴</li> <li>●豊橋市立下地小学校 5年 近藤泉</li> <li>●蒲郡市立塩津中学校 2年 井崎亜美</li> <li>●常滑市立南陵中学校 3年 関啓江</li> <li>●名古屋短期大学附属高等学校 2年 森下真木子</li> <li>●県立福江高等学校 2年 尾藤あゆみ</li> </ul>	

# 東海4県読書ゆうびんコンテストのあゆみ

## 本県の応募状況の変遷

(名古屋市を除く)

東海4県読書ゆうびんコンテストは、平成3年度にスタートした。この事業は、児童生徒が「郵便はがき」を用いて、本の感動をもとにした読書の勧めを文章や絵画で表現することにより、表現力の伸長を図るとともに、読書意欲の喚起と動機づけに資そうとするものである。

主催は愛知県学校図書館研究会・名古屋市学校図書館協議会・岐阜県学校図書館協議会・三重県学校図書館協議会・静岡県教育研究会学校図書館研究部ならびに全国学校図書館協議会・中日新聞社である。そして、各県市の教育委員会が後援し、東海郵政局が特別協賛している。

応募資格は、小中学校（盲・聾・養護学校を含む）に在学する児童生徒であり、募集期間は、1月下旬から6月30日までである。小学校の低・中・高および中学校の4部門に分かれ、それぞれ自由読書・指定読書の部に分かれている。表彰は9月中旬に中日新聞本社において入賞者を招待して行われる。

本県からの出品点数が全体の約半分を占めており、年々各部門とも点数の増加が見られ定着しつつあると言える。

なお、このコンテストの運営委員会規約には、「(事務局)本委員会は、愛知県学校図書館研究会及び名古屋市学校図書館協議会が毎年交互に事務局を担当する。」とあり、県SLAは第1回を担当した。

平成 3 (1)			平成 4 (2)		
小 学 校	低学年	9,493	小 学 校	低学年	12,130
	中学年	10,213	学	中学年	13,400
	高学年	10,121	校	高学年	13,545
中 学 校		5,193	中 学 校		7,330
合 計		35,020	合 計		46,405
◎最優秀賞 ・東郷町立東郷小学校 2年 西本 麻美 ・一宮市立丹陽小学校 6年 小林 恭子 ◎優秀賞 ・稲沢市立千代田小学校 4年 奥田 豊 ◎優良賞 ・祖父江町立領内小学校 2年 田島 克行 ・豊橋市立高師小学校 3年 松下 衣里 ・知多市立東部中学校 1年 山口 千詠 ・大府市立大府中学校 3年 山本 菜穂子			◎優秀賞3名 ・一宮市立西成小学校 1年 浅井さやか ・知多市立旭北小学校 4年 斉藤 映子 ・知多市立旭南中学校 2年 香月 佑介 ◎優良賞 ・安城市立今池小学校 1年 池田 晶子 ・岡崎市立根石小学校 4年 天野 勢菜 ・岡崎市立緑丘小学校 5年 高橋 幸奈 ・豊田市立若園中学校 1年 林 美絵		

# 学校図書館奨励賞年度別入賞校一覧

賞		年度	校名
		58	
校名		校名	
総合優秀賞	文部大臣賞	東浦町立森岡小学校	
	知事賞	下山村立下山中学校	
	県教育委員会賞	鳳来町立山吉田小学校	
	中日賞	瀬戸市立南山中学校	
部門優秀者	読書指導	祖父江町立長岡小学校	
	〃	半田市立青山中学校	
	〃	安城市立里町小学校	
	〃	豊田市立東保見小学校	
	〃	稲武町立稲武中学校	
	〃	豊川市立代田小学校	
	利用指導	犬山市立犬山北小学校	
〃	蟹江町立舟入小学校		
奨励賞	春日井市立高森台小学校		
	小牧市立村中小学校		
	清洲町立東小学校		
	江南市立藤里小学校		
	祖父江町立祖父江小学校		
	弥富町立桜小学校		
	津島市立蛭間小学校		
	武豊町立武豊小学校		
	半田市立板山小学校		
	知多市立旭東小学校		
	西尾市立鶴城小学校		
	岡崎市立恵田小学校		
	額田町立下山小学校		
	豊田市立広川台小学校		
	藤岡町立御作小学校		
	足助町立椿立小学校		
	東栄町立古戸小学校		
	新城市立東郷西小学校		
	豊川市立東部小学校		
田原町立六連小学校			

賞		年度	校名
		59	
校名		校名	
総合優秀賞	文部大臣賞	豊田市立土橋小学校	
	知事賞	南知多町立内海小学校	
	県教育委員会賞	犬山市立犬山北小学校	
	中日賞	豊川市立代田小学校	
部門優秀賞	読書指導	一宮市立大和南小学校	
	〃	東海市立明倫小学校	
	〃	足助町立椿立小学校	
	〃	津具村立津具小学校	
	〃	作手村立作手中学校	
	管理運営	清洲町立東小学校	
	〃	岡崎市立広幡小学校	
資料整備	美和町立正則小学校		
奨励賞	一宮市立浅井中小学校		
	一宮市立千秋南小学校		
	岩倉市立岩倉北小学校		
	尾張旭市立旭小学校		
	日進町立西小学校		
	佐屋町立市江小学校		
	七宝町立秋竹小学校		
	知多市立知多中学校		
	半田市立半田小学校		
	武豊町立緑丘小学校		
	岡崎市立福岡小学校		
	安城市立二本木小学校		
	西尾市立三和小学校		
	豊田市立寿恵野小学校		
	三好町立南部小学校		
	足助町立新盛小学校		
	東栄町立下川小学校		
	鳳来町立海老小学校		
	田原町立田原東部小学校		
一宮町立一宮東部小学校			

賞	年度 校名	60
		校名
総合優秀賞	文部大臣賞	祖父江町立長岡小学校
	知事賞	安城市立里町小学校
	県教育委員会賞	津具村立津具中学校
	中日賞	甚目寺町立東小学校
部門優秀賞	管理運営	足助町立追分小学校
	読書指導	尾張旭市立旭小学校
	"	佐屋町立佐屋小学校
	"	半田市半田小学校
	"	藤岡町立中山小学校
	"	田原町立六連小学校
	利用指導	江南市立藤里小学校
"	鳳来町立海老小学校	
奨励賞		一宮市立丹陽西小学校
		一宮市立中島小学校
		春日井市立柏原小学校
		東郷町立音貝小学校
		扶桑町立扶桑東小学校
		飛島村立飛島小学校
		津島市立神守小学校
		知多市立つつじが丘小学校
		東海市立加木屋南小学校
		大府市立大府北中学校
		岡崎市立梅園小学校
		安城市立安城中部小学校
		安城市立綿町小学校
		豊田市立駒場小学校
		豊田市立伊保小学校
足助町立冷田小学校		
設楽町立清崎小学校		
鳳来町立連谷小学校		
豊橋市立芦原小学校		
豊川市立中部小学校		

賞	年度 校名	61
		校名
総合優秀賞	文部大臣賞	岡崎市立広幡小学校
	知事賞	半田市立青山中学校
	県教育委員会賞	尾張旭市立旭小学校
	中日賞	田原町立六連小学校
部門優秀賞	読書指導	一宮市立千秋南小学校
	"	扶桑町立扶桑東小学校
	"	八開村立開治小学校
	"	武豊町立武豊小学校
	"	足助町立冷田小学校
	"	稲武町立稲武小学校
	利用指導	鳳来町立連谷小学校
資料整備	豊田市立伊保小学校	
奨励賞		一宮市立丹陽南小学校
		稲沢市立稲沢西小学校
		春日井市立上条小学校
		日進町立南小学校
		扶桑町立柏森小学校
		津島市立高台寺小学校
		大治町立大治南小学校
		半田市立乙川東小学校
		知多市立八幡小学校
		常滑市立鬼崎中学校
		岡崎市立矢作南小学校
		西尾市立平坂小学校
		碧南市立西端小学校
		豊田市立美山小学校
		豊田市立高嶺小学校
足助町立大見小学校		
設楽町立三都橋小学校		
鳳来町立鳳来東小学校		
豊橋市立大清水小学校		
豊橋市立植田小学校		

賞		年度 校名	62
			校 名
総合優秀賞	文部大臣賞		半田市立半田小学校
	知事賞		鳳来町立連谷小学校
	県教育委員会賞		豊田市立伊保小学校
	中日賞		江南市立藤里小学校
部門優秀賞	管理運営		半田市立乙川東小学校
	読書指導		稲沢市立稲沢西小学校
	"		大治町立大治南小学校
	"		足助町立新盛小学校
	"		東栄町立御園小学校
	"		豊橋市立大清水小学校
	資料整理		春日井市立柏原小学校
"		岡崎市立連尺小学校	
奨励賞			木曾川町立木曾川東小学校
			一宮市立千秋東小学校
			稲沢市立稲沢東小学校
			小牧市立陶小学校
			豊明市立唐竹小学校
			津島市立津島西小学校
			蟹江町立須西小学校
			美浜町立奥田小学校
			半田市立宮池小学校
			東海市立横須賀中学校
			碧南市立日進小学校
			岡崎市立美合小学校
			西尾市立西野町小学校
			豊田市立加納小学校
			豊田市立井上小学校
			足助町立大河原小学校
			設楽町立神田小学校
		新城市立千郷中学校	
		蒲郡市立塩津小学校	
		音羽町立長沢小学校	

賞		年度 校名	63
			校 名
総合優秀賞	文部大臣賞		稲武町立稲武中学校
	知事賞		美和町立正則小学校
	県教育委員会賞		春日井市立柏原小学校
	中日賞		足助町立則定小学校
部門優秀賞	読書指導		扶桑町立柏森小学校
	"		一宮市立丹陽南小学校
	"		津島市立西小学校
	"		半田市立宮池小学校
	"		豊田市立美山小学校
	"		鳳来町立鳳来東小学校
	"		音羽町立長沢小学校
	利用指導		安城市立安城中部小学校
奨励賞			一宮市立千秋小学校
			祖父江町立領内小学校
			春日井市立山王小学校
			春日井市立北城小学校
			春日井市立岩成台西小学校
			七宝町立宝小学校
			立田村立立田北部小学校
			半田市立成岩小学校
			南知多町立豊浜小学校
			阿久比町立阿久比中学校
			岡崎市立愛宕小学校
			西尾市立八ツ面小学校
			安城市立祥南小学校
			豊田市立大畑小学校
			藤岡町立飯野小学校
			足助町立明和小学校
			鳳来町立七郷一色小学校
		豊橋市立新川小学校	
		田原町立衣笠小学校	
		豊川市立国府小学校	

賞	年度 校名	平成元年度	
		校 名	
総合優秀賞	文部大臣賞	稲沢市立稲沢西小学校	
	知事賞	安城市立安城中部小学校	
	県教育委員会賞	音羽町立長沢小学校	
	中日賞	半田市立乙川東小学校	
部門優秀賞	管理運営	日進町立日進西小学校	
	〃	半田市立成岩小学校	
	〃	藤岡町立御作小学校	
	読書指導	木曾川町立木曾川東小学校	
	〃	立田村立立田北部小学校	
	〃	足助町立大河原小学校	
	〃	東栄町立下川小学校	
〃	鳳来町立七郷一色小学校		
奨励賞		瀬戸市立八幡小学校	
		春日井市立牛山小学校	
		豊明市立栄小学校	
		大口町立大口南小学校	
		尾西市立開明小学校	
		蟹江町立新蟹江小学校	
		佐屋町立永和小学校	
		東浦町立石浜西小学校	
		常滑市立大野小学校	
		知多市立中部中学校	
		岡崎市立山中小学校	
		安城市立新田小学校	
		西尾市立寺津小学校	
		豊田市立衣丘小学校	
		藤岡町立藤岡中学校	
		旭町立浅野中学校	
	豊根村立坂字場小学校		
	作手村立菅守小学校		
	豊橋市立豊南小学校		
	蒲郡市立三谷小学校		

賞	年度 校名	2	
		校 名	
総合優秀賞	文部大臣賞	岡崎市立連尺小学校	
	知事賞	日進町立日進西小学校	
	県教育委員会賞	大治町立大治南小学校	
	中日賞	鳳来町立鳳来東小学校	
部門優秀賞	管理運営	豊田市立駒場小学校	
	読書指導	尾西市立開明小学校	
	〃	大口町立大口南小学校	
	〃	佐屋町立永和小学校	
	〃	足助町立大見小学校	
	〃	設楽町立三都橋小学校	
	〃	田原町立野田小学校	
	利用指導	東浦町立石浜西小学校	
奨励賞		春日井市立味美小学校	
		小牧市立篠岡中学校	
		祖父江町立牧川小学校	
		稲沢市立下津小学校	
		犬山市立南部中学校	
		甚目寺町立甚目寺南小学校	
		佐織町立草平小学校	
		常滑市立西裏北小学校	
		半田市立花園小学校	
		知多市立東部中学校	
		岡崎市立常磐東小学校	
		安城市立桜井小学校	
		西尾市立福地北部小学校	
		豊田市立五ヶ丘小学校	
		豊田市立西保見小学校	
		下山村立和合小学校	
	東栄町立中設楽小学校		
	新城市立舟着小学校		
	豊橋市立東部中学校		
	御津町立御津南部小学校		

賞		年度 校名	3
			校 名
総合優秀賞	文部大臣賞		半田市立成岩小学校
	知事賞		豊田市立尾山小学校
	県教育委員会賞		田原町立野田小学校
	中日賞		大口町立大口南小学校
部門優秀賞	管理運営		小牧市立篠岡中学校
	読書指導		祖父江町立領内小学校
	"		佐織町立草平小学校
	"		旭町立浅野中学校
	"		新城市立東郷西小学校
	"		豊橋市立新川小学校
	利用指導		安城市立新田小学校
	資料整備		美浜町立奥田小学校
奨励賞			西春町立白木小学校
			春日井市立鳥居松小学校
			江南市立布袋小学校
			一宮市立北方小学校
			稲沢市立稲沢北小学校
			七宝町立七宝小学校
			弥富町立弥生小学校
			東浦町立生路小学校
			大府市立大府小学校
			半田市立成岩中学校
			岡崎市立上地小学校
			刈谷市立平成小学校
			西尾市立福地南部小学校
			豊田市立平井小学校
			豊田市立浄水小学校
			下山村立田平沢小学校
			東栄町立奈根小学校
		新城市立千郷小学校	
		豊橋市立牟呂小学校	
		豊川市立金屋小学校	

賞		年度 校名	4
			校 名
総合優秀賞	文部大臣賞		安城市立新田小学校
	知事賞		半田市立宮池小学校
	県教育委員会賞		小牧市立篠岡中学校
	中日賞		東栄町立東部小学校
部門優秀賞	読書指導		七宝町立七宝小学校
	"		豊田市立平井小学校
	"		下山村立和合小学校
	"		新城市立舟着小学校
	"		豊橋市立飯村小学校
	利用指導		一宮市立北方小学校
	"		犬山市立南部中学校
	"		大府市立大府小学校
	資料整備		春日井市立鳥居松小学校
奨励賞			一宮市立宮西小学校
			稲沢市立国分小学校
			瀬戸市立下品野小学校
			長久手町立長久手小学校
			弥富町立大藤小学校
			八開村立八開中学校
			南知多町立豊丘小学校
			半田市立乙川小学校
			東海市立上野中学校
			岡崎市立三島小学校
			岡崎市立新香山中学校
			刈谷市立小垣江東小学校
			豊田市立朝日小学校
			豊田市立前山小学校
			足助町立萩野小学校
			東栄町立古戸小学校
			鳳来町立山吉田小学校
		蒲郡市立形原北小学校	
		小坂井町立小坂井中学校	

# 学校図書館研究会 役員・部長・理事一覽

役職		年度	58	59	60	
会 長			鈴木 満 (旭野高)	間瀬 泰男 (半田小)	二宮 敏行 (刈谷東中)	
副 会 長			長谷川丈夫 (天王中) 二宮 敏行 (刈谷東中) 柘植敬一郎 (瀬戸高)	栗木 紀憲 (清洲東小) 二宮 敏行 (刈谷東中) 鈴木 満 (旭野高)	鈴木 義治 (矢作中) 長谷川 勉 (一宮北部中) 中保 進 (瀬戸高)	
事務局長			山崎 義周 (旭野高)	水野 森和 (乙川東小)	鈴木 秋男 (矢作南小)	
監 事			富田 義一 (神守小) 伊豫田 博 (土橋小)	伊豫田 博 (土橋小) 堀内 金清 (天白高)	武田 和己 (日進西小) 日下 英之 (江南高)	
事務部長	尾張		栗木 紀憲 (清洲東小)	栗木 紀憲 (清洲東小)	水野 森和 (乙川東小)	
	三河		星野 正明 (豊富小)	数納 操 (御津中)	星野 正明 (豊富小)	
	高校		山崎 義周 (旭野高)	山崎 義周 (旭野高)	堀内 金清 (天白高)	
会務三部長	研究		柘植敬一郎 (瀬戸高)	武田 和己 (日進西小)	鈴木 義治 (矢作中)	
	紀要		栗木 紀憲 (清洲東小)	鈴木 義治 (福岡小)	土本 辰雄 (豊橋商高)	
	読感		鈴木 義治 (福岡小)	中保 進 (瀬戸高)	栗木 紀憲 (陶小)	
理 事	尾 張		富田 義一 (神守小) 舟橋 勝 (岩倉北小) 間瀬 泰男 (青山中) 武田 和己 (日進西小) 大島 宏 (奥 小) 谷口 欣三 (奥 中) 水野 森和 (名和中) 鈴木 義岳 (大治小) 平手 満昭 (扶桑中) 栗木 紀憲 (清洲東小)	長谷川 勉 (一宮北部中) 武田 和己 (日進西小) 林 甫 (長岡小) 近藤 峯生 (江 小) 山田 鉦伍 (柏森小) 間瀬 利彦 (船島小) 服部 進 (葉栗北小) 丹羽 才二 (桃ヶ丘小) 大池 捷彦 (城東中) 鈴木 義岳 (大治小)	武田 和己 (日進西小) 山田 鉦伍 (柏森小) 栗木 紀憲 (陶 小) 杉本 郁夫 (十四山西部小) 内田 幹雄 (千秋南小) 中村 廣治 (山崎小) 大池 捷彦 (城東中) 鈴木 義岳 (大治小) 石川 利彦 (南粕谷小) 伊藤 茂一 (稲沢西小)	
		三 河		鈴木 義治 (福岡小) 深津 学 (日進小) 寺尾 一郎 (小田木小) 原田 方夫 (代田中) 伊豫田 博 (土橋小) 青山 建一 (東部小) 星野 正明 (豊富小) 中田 哲三 (豊橋幸小) 数納 操 (御津中) 富田 啓介 (西尾小)	岩瀬 将夫 (豊橋幸小) 滝川 昭治 (鳳来中部小) 森下 正義 (田原六連小) 鈴木 義治 (岡崎福岡小) 深津 学 (鷺塚小) 畔柳 功 (安城南部小) 平松 清孝 (代田小) 数納 操 (御津中) 富田 啓介 (西尾小) 星野 正明 (豊富小)	鈴木 昭 (豊川東部小) 伊藤 秀一 (豊橋植田小) 森下 正義 (田原六連小) 畔柳 功 (安城南部小) 児玉 忠雄 (豊南中) 深津 学 (鷺塚小) 榊原 滋人 (蒲郡南部小) 数納 操 (御津中) 星野 正明 (豊富小) 木村 格 (吉浜小)
			高 校		村田 平 (新城高) 藤井 敏子 (東浦高) 長縄 昭 (綿 高) 川口 鐘一 (金城学院高) 梅岡 嘉巳 (新城高) 深井 宗善 (東浦高) 佐々 頌 (金城学院高) 佐藤 猛 (若宮商高)	中保 進 (瀬戸高) 川口 滋夫 (平和高) 小木曾通夫 (名東高) 川口 鐘一 (金城学院高) 山崎 義周 (旭野高) 井上 義則 (平和高) 栗木 昌久 (緑 高) 佐々 頌 (金城学院高)

年度		61	62	63
役職	年度			
会 長		中保 進 (瀬戸高)	栗木 紀憲 (陶 小)	浅井 浩 (大塚中)
副 会 長		長谷川 勉 (一宮北部中) 伊藤 秀一 (豊橋植田小) 大西賢次郎 (東海商高)	武田 和己 (日進西小) 浅井 浩 (大塚中) 日比 紫朗 (一宮興道高)	伊藤 秀一 (豊橋新川小) 栗木 紀憲 (篠岡中) 日比 紫朗 (一宮興道高)
事務局長		堀内 金清 (天白高)	平手 満昭 (扶桑中)	数納 操 (音羽中)
監 事		武田 和己 (日進西小) 浅井 浩 (大塚中)	伊藤 秀一 (豊橋新川小) 杉田 英介 (天白高)	武田 和己 (日進西小) 杉田 英介 (天白高)
事務局長	尾張	谷口 欣三 (大志小)	谷口 欣三 (大志小)	中野 基文 (六輪小)
	三河	数納 操 (御津中)	鈴木 秋男 (矢作南小)	三浦 哲志 (豊橋本郷中)
	高校	堀内 金清 (天白高)	堀内 金清 (天白高)	堀内 金清 (天白高)
会務三部長	研究	杉田 英介 (天白高)	今井 申午 (城東中)	加藤 勤 (豊川東部小)
	紀要	松本幸兵衛 (武豊小)	鈴木 至 (豊川桜木小)	日下 英之 (熱田高)
	読感	鈴木 至 (豊川桜木小)	築瀬 政雄 (平和高)	今井 申午 (城東中)
理 事	尾 張	栗木 紀憲 (陶 小) 松本幸兵衛 (武豊小) 今井 申午 (城東中) 杉本 郁夫 (十四山西部小) 内田 幹雄 (千秋小) 中村 廣治 (山崎小) 谷口 欣三 (大志小) 伊藤 茂一 (稲沢西小) 大池 捷彦 (城東中) 石川 利彦 (南粕谷小)	今井 申午 (城東中) 松本幸兵衛 (武豊小) 内田 幹雄 (千秋小) 杉本 郁夫 (十四山西部小) 中村 廣治 (山崎小) 中島 豊昭 (長根小) 谷口 欣三 (大志小) 石川 利彦 (南粕谷小) 大池 捷彦 (城東中) 大泉 完 (大治南小)	岩田 博之 (葉栗中) 栗木 紀憲 (篠岡中) 今井 申午 (城東中) 中野 基文 (六輪小) 杉本 郁夫 (十四山西部小) 松本幸兵衛 (武豊小) 谷口 欣三 (大志小) 伊藤 茂一 (稲沢西小) 石川 利彦 (南粕谷小) 大泉 完 (立田南部小)
	三 河	鈴木 至 (豊川桜木小) 杉本 功 (鳳来東小) 白井 優 (田原中部小) 小野 敏夫 (石野中) 森 重彦 (花ノ木小) 松坂 昇一 (形埜小) 榊原 滋人 (蒲郡南部小) 数納 操 (御津中) 鈴木 秋男 (矢作南小) 石川 健吾 (大浜小)	浅井 浩 (大塚中) 伊藤 秀一 (豊橋新川小) 鈴木 至 (豊川桜木小) 伊藤 仁 (浄水小) 大蔵 実 (高浜港小) 松坂 昇一 (形埜小) 数納 操 (音羽中) 榊原 滋人 (蒲郡南部小) 鈴木 秋男 (矢作南小) 尾崎 寿樹 (刈谷東中)	伊藤 秀一 (豊橋新川小) 加藤 勤 (豊川東部小) 平井 太 (渥美切小) 鈴木 秋男 (常盤東小) 都築 直市 (安城明和小) 後藤 彬 (額田坂崎小) 三浦 哲志 (豊橋本郷中) 榊原 滋人 (蒲郡南部小) 中根 洋 (岡崎根石小) 尾崎 寿樹 (刈谷東中)
	高 校	杉田 英介 (天白高) 林 純夫 (綿 高) 川口 鐘一 (金城学院高) 神谷 貴 (瑞陵高) 伊藤 博朗 (東海商高) 釘宮 照代 (富田高) 佐々 頌 (金城学院高)	近田 昌介 (三谷水産高) 猪飼 将 (半田東高) 牛尾 協明 (第二工高) 川口 鐘一 (金城学院高) 堀内 金清 (天白高) 神谷 貴 (瑞陵高) 佐々 頌 (金城学院高)	日下 英之 (熱田高) 佐々木恵雲 (新川高) 山本 一雄 (高浜高) 栗林 裕 (富田高) 川口 鐘一 (金城学院高) 堀内 金清 (天白高) 山田 康雄 (名市工高) 佐々 頌 (金城学院高)

年度		元	2	3
役職	年度			
会長		日比 紫朗 (一宮興道高)	水野 森和 (武豊小)	鈴木 秋男 (常盤東小)
副会長		栗木 紀憲 (篠岡中)	鈴木 秋男 (常盤東小)	深川 恵造 (阿久比高)
		鈴木 秋男 (常盤東小)	日比 紫朗 (一宮興道高)	中野 基文 (六輪小)
		日下 英之 (熱田高)	栗木 紀憲 (篠岡中)	尾関 文啓 (新田小)
事務局長		堀内 金清 (天白高)	中野 基文 (六輪小)	島崙 和美 (里町小)
監事		新帯 二夫 (旭北小)	尾関 文啓 (新田小)	佐藤 重明 (幸田高)
		伊藤 秀一 (豊橋新川小)	杉山 則夫 (稲沢東高)	水野 森和 (武豊小)
事務部長	尾張	中野 基文 (六輪小)	中野 基文 (六輪小)	馬場 隆敏 (六輪小)
	三河	尾関 寿樹 (富士松中)	島崙 和美 (里町小)	島崙 和美 (里町小)
	高校	堀内 金清 (天白高)	堀内 金清 (瑞陵高)	堀内 金清 (瑞陵高)
会務三部長	研究	日下 英之 (熱田高)	中野 基文 (六輪小)	斎藤 裕 (寿恵野小)
	紀要	杉本 郁夫 (甚目寺西小)	平松 憲 (三蔵子小)	加藤 克美 (知多高)
	読感	後藤 彬 (額田坂崎小)	深川 恵造 (阿久比高)	平手 満昭 (扶桑中)
理事	尾張	石原 亨 (西成中)	今井 申午 (犬山西小)	杉本 郁夫 (甚目寺西小)
		谷沢 昂 (上条小)	真野 泉 (一宮北方小)	平手 満昭 (扶桑中)
		今井 申午 (犬山西小)	谷沢 昂 (藤山台中)	谷沢 昂 (藤山台中)
		中野 基文 (六輪小)	杉本 郁夫 (甚目寺西小)	谷口 欣三 (千秋南小)
		杉本 郁夫 (甚目寺西小)	谷口 欣三 (大志小)	新帯 二夫 (旭北小)
		松本幸兵衛 (武豊小)	伊藤 茂一 (稲沢西小)	則竹 利彦 (千秋東小)
		谷口 欣三 (大志小)	石川 利彦 (成岩中)	石川 健二 (武豊小)
		伊藤 茂一 (稲沢西小)	岡島 溢愛 (柏原小)	千田満沙志 (古知野南小)
		石川 利彦 (成岩中)	千田満沙志 (大口中)	馬場 隆敏 (六輪小)
		大泉 完 (立田南部小福原分校)	大泉 完 (立田南部小)	大泉 完 (神守中)
理事	三河	平松 憲 (三蔵子小)	平松 憲 (三蔵子小)	杉浦 武子 (豊橋芦原小)
		内山 剛久 (蒲郡中央小)	杉浦 武子 (豊橋芦原小)	山下 久夫 (大塚中)
		林 和彦 (渥美野田小)	山下 久夫 (大塚中)	平松 憲 (三蔵子小)
		後藤 彬 (額田坂崎小)	近藤 満 (富士松南小)	近藤 満 (富士松南小)
		都築 直市 (安城明和小)	斎藤 裕 (寿恵野小)	斎藤 裕 (寿恵野小)
		細井 龍夫 (知立西小)	菅沼 敏樹 (鶴城小)	神谷 清久 (福地北部小)
		遠山 明 (大塚中)	木山登志子 (豊橋下地小)	山田 浩生 (豊橋東部中)
		木原登志子 (豊橋下地小)	石原 孝信 (一宮東部小)	北川 宣明 (豊川東部中)
		尾崎 寿樹 (富士松中)	中根 洋 (岡崎根石小)	大橋 忠男 (小高原小)
		中根 洋 (岡崎根石小)	島崙 和美 (里町小)	中根 洋 (本宿小)
理事	高校	服部 鉄治 (一宮南高)	深川 恵造 (阿久比北高)	坂野 晴和 (春日井東高)
		深川 恵造 (阿久比高)	尾野田章二 (豊橋西高)	大林 淳男 (豊橋南高)
		芳賀 利行 (豊田南高)	宮前 通康 (向陽高)	宮前 通康 (向陽高)
		松井 三幸 (渥美農高)	杉山 舜一 (金城学院高)	杉山 舜一 (金城学院高)
		栗林 裕 (富田高)	堀内 金清 (瑞陵高)	堀内 金清 (瑞陵高)
		川口 鐘一 (金城学院高)	中村 善一 (岡崎高)	田力 文子 (幸田高)
		佐々 頌 (金城学院高)	杉浦 央和 (中央高)	福田 唯郎 (向陽高)
			佐々 頌 (金城学院高)	佐々 頌 (金城学院高)

役職		年度	4	5
会 長			深川 恵造 (五条高)	中野 基文 (稲沢大塚小)
副 会 長			坂野 晴和 (春日井東高) 中野 基文 (稲沢大塚小) 尾関 文啓 (新田小)	深川 恵造 (五条高) 平手 満昭 (扶桑中) 鈴木 定夫 (豊川東部小)
事務局長			堀内 金清 (瑞陵高)	馬場 隆敏 (祖父江中)
監 事			水野 森和 (武豊小) 鈴木 定夫 (豊川東部小)	加藤 克美 (知多高) 安丸 銀次 (羽根小)
事務部長	尾張		馬場 隆敏 (六輪小)	馬場 隆敏 (祖父江中)
	三河		島崎 和美 (安城東部小)	小林 忠司 (豊川中部小)
	高校		堀内 金清 (瑞陵高)	平野 正一 (五条高)
会務三部長	研究		加藤 克美 (知多高)	石川 利彦 (半田小)
	紀要		谷口 欣三 (千秋南小)	近藤 銈司 (末野原中)
	読感		吉見 宏 (竹島小)	瀧川 元雄 (岡崎東高)
理	尾張		平手 満昭 (扶桑中) 谷沢 昂 (藤山台中) 谷口 欣三 (千秋南小) 服部 桂 (大治小) 谷田 潔 (布袋小) 渡辺 省三 (大徳小) 石川 健二 (武豊小) 岩田 充 (萩原中) 寺本 文夫 (島津西小) 加藤 淳二 (牛山小)	谷口 欣三 (千秋南小) 服部 桂 (大治小) 石川 利彦 (半田小) 今井 義夫 (北里中) 谷田 潔 (布袋小) 林 徹朗 (国分小) 石川 健二 (富貴中) 千田満沙志 (古知野南小) 岩田 充 (萩原中) 小林 稔 (藤浪中)
	三河		吉見 宏 (竹島小) 河合 道夫 (一宮南部小) 平山 勝 (渥美神戸小) 安丸 銀次 (羽根小) 近藤 銈司 (野見小) 神谷 清久 (福地北部小) 鈴木 伸一 (豊橋東部中) 北川 宣明 (豊川西部中) 島崎 和美 (安城東部小) 鈴木 純子 (岡崎上地小)	黒川しず代 (豊橋大村小) 廣瀬 三生 (御津南部小) 河合 一充 (渥美若戸小) 近藤 銈司 (末野原中) 岩月 昭 (二本松小) 篠田 森常 (好浜小) 鈴木 伸一 (豊橋東部中) 小林 忠司 (豊川中部小) 鈴木 純子 (岡崎上地小) 島崎 和美 (安城東部小)
事	高 校		武藤 悦堂 (一宮北高) 加藤 克美 (知多高) 瀧川 元雄 (岡崎東高) 道丹 進 (御津高) 鈴木 道雄 (富田高) 杉山 舜一 (金城学院高) 森本 稔 (知多高) 佐々 頌 (金城学院高)	松岡 弘道 (瀬戸北高) 巽 俊雄 (美和高) 瀧川 元雄 (岡崎東高) 井上 英之 (新城東高) 大矢 訓之 (緑 高) 和田 敏夫 (金城学院高) 森本 稔 (知多高) 佐々 頌 (金城学院高)

## 学校図書館研究会貢献者

	尾 張	三 河	高 校
氏  名	長谷川 丈夫 間瀬 泰 長谷川 紀和 栗木 申郁 武今 森幸 杉水 兵 松谷 本 谷 沢	二宮 敏行 鈴木 義義 伊藤 藤秀 浅井 木 鈴納 木 数後 藤 鈴尾 木 島 関 島 崙	鈴木 満郎 柘山 一郎 山中 敬義 日堀 英金 日深 紫 佐 恵 林 久 木植 満 崎 郎 保 周 下 進 内 之 比 清 川 朗 々 造 頌 男

## 学校図書館研究会功勞者

地区	氏 名	地区	氏 名	地区	氏 名
尾  張	富田 賢史 岡島 溢 真島 啓 谷島 欣 北野 竜 天水 正 加野 小 浅藤 保 住井 孝 石川 勢 石川 利 中川 健 林伊 律 鈴良 里 朝木 万 新山 克 伊藤 弘 千藤 茂 馬田 沙 場 隆	三  河	伊豫 田博 加藤 勤 齐藤 裕 柗原 人 平松 孝 石林 善 榎本 三 山田 吉 尾崎 多 安藤 寿 鈴藤 法 鈴木 純 平木 定 近松 銚 吉藤 克 酒見 敏 遠井 忠 酒山 敏 大橋	高  校	築瀬 政雄 大西 賢次 加藤 克 安藤 や 後 藤 百 合 子 子

# 会 則 の 変 遷

## 1. 現在の会則

### 愛知県学校図書館研究会会則

一部改正 平成5年5月25日

#### 第1章 総 則

(名 称)

第1条 この会は愛知県学校図書館研究会と称する。

(事 務 局)

第2条 この会の事務局は原則として会長在任校に置く。

(目 的)

第3条 この会は学校図書館の健全な発達を図り、もって学校教育を充実することを目的とする。

#### 第2章 事 業

(事 業)

第4条 この会の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 学校図書館振興に関する各種の企画及び協力
- (2) 学校図書館の管理と運営に関する研究
- (3) 資料の収集、管理に関する研究
- (4) 学校図書館並びに資料の利用に関する研究
- (5) 研究大会、研究会、実務講習会、研修会等の開催
- (6) 研究物、機関誌等の刊行
- (7) その他、この会の目的を達成するために必要な事業

#### 第3章 会 員

(会 員)

第5条 この会の会員は、公立の小・中学校(名古屋市立を除く)及び公立・私立の高等学校並びに特殊学校をもって会員とする。

#### 第4章 役職員および組織

(役 員)

第6条 この会に役員及び理事・評議員をおく。

- (1) 会 員 1 名
- (2) 副 会 長 若干名
- (3) 監 事 2 名
- (4) 事務局長 1 名
- (5) 理 事 若干名
- (6) 評 議 員 若干名

(役員の選出)

第7条 この役員及び理事・評議員の選出は次の方法による。

- (1) 評議員は、小・中学校においては各都市ごとに、高校においてはブロックごとに選出する。
- (2) 会員・副会長は、所属会員中から評議員会において選出する。
- (3) 理事・監事は、評議員の互選によって選出する。
- (4) 事務局長は、会長が委嘱する。

(会 長)

第8条 会長はこの会を代表し、会務を総理する。

(副 会 長)

第9条 副会長は会長を補佐し、会長事故ある場合に会務を代行する。

(監 事)

第10条 監事は会計を監査する。

(役員任期)

第11条 この会の役員任期は1ヵ年とする。但し再任を妨げない。

2. 役員は任期満了後も、後任者の就任するまでは、その職務を行う。
3. 補欠役員任期は、前任者の残任期間とする。

(事務局職員)

第12条 事務局長及び会長が委嘱した事務職員は、この会の実務並びに会計を処理する。

(顧 問)

第13条 この会に顧問をおくことができる。

2. 顧問は、本会に対する功労顕著なる者、及び学識経験のある者を、理事会の承認を得て会長がこれを委嘱する。

(部 会)

第14条 この会の目的達成のため、必要に応じて、学校種別その他の部会をおくことができる。また、必要に応じて地区・郡・市に支部を置くことができる。

2. 部会および支部の設置は、総会の承認を必要とする。
3. 部会および支部の運営等については、その都度会長に報告する。

## 第5章 会 議

(会 議)

第15条 この会に次の会議を設ける。

- (1) 総 会
- (2) 評議員会
- (3) 理 事 会
- (4) 役 員 会
- (5) 研究部会

(総 会)

第16条 総会は全会員の三分の二以上の出席をもって、毎年1回、開催する。但し、評議員会をもってこれに代えることができる。

2. 総会のなすべき事項は、次の通りとする。

- (1) 会務の報告
- (2) 会則の変更
- (3) 事業計画並びに予算の審議及び決算の承認
- (4) 役員を選出

(評議員会)

第17条 評議員会は、評議員の三分の二以上の出席をもって、毎年一回以上開く。

(理 事 会)

第18条 理事会は、必要あるごとに、理事の三分の二以上の出席をもって開く。

2. 理事会においてなすべき事項は、次の通りとする。

- (1) 評議員会の決議によって委任された事項
- (2) 会務執行上の諸事項
- (3) 緊急を要する事項

(役 員 会)

第19条 役員会は、必要あるごとに開き、会務運営上の諸事業を協議する。

## 第6章 会 計

(経 費)

第20条 この会の経費は、会費、助成金、寄付金、その他をもってこれにあてる。

第21条 この会の会計年度は毎年4年1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

## 第7章 補 則

(会則の変更)

第22条 会則の変更は、総会において出席者の三分の二以上の賛成がなければならない。

(細 則)

第23条 この会の運営に必要な細則は理事会で別に定める。

(効力の発生)

第24条 この会則は、総会において承認された日から、その効力を発生する。

細 則

1. 評議員の数は次の通りとする。

高 等 学 校			小・中学校	
地 区	校 長	教 諭	校 長	教頭・教諭
名 古 屋	1	1	各郡市	各郡市
尾 張	2	2	1	1
東 三 河	1	1		
西 三 河	1	1		
名古屋市立	1	1		
私 立	1	1		
計	7	7	45	45
合 計	104名			

2. 理事の数は、次の通りとする。

高 等 学 校			小・中学校	
地 区	校 長	教 諭	校 長	教頭・教諭
県 立	2	2	尾張6	4
市 立	1	1	三河6	4
私 立	1	1		
計	4	4	12	8
合 計	28名			

3. 監事は会長以外のブロックから各1名を選出する。

4. 会費は、下記の通り徴収する。

高等学校	特殊学校	小・中学校	
		7学級以上	6学級以下
2,900円	1,210円	1,490円	1,210円

5. 本会は、愛知図書館協会に団体加入し、下記の基準により、会費を納入する。

高等学校	特殊学校	小・中学校	
		7学級以上	6学級以下
1,000円	500円	500円	500円

6. 本会は、全国学校図書館協議会に対し、下記の基準により、会費を一括納入する。  
基準1校につき 50円

## 2. 会則変遷の概要

昭和38年度、愛知県学校図書館教育研究会が、愛知図書館協会から分離独立して発足した。伴って会則が作成された。（起草者、愛知図書館司書符納逸朗氏）

昭和39年度、大改正が行われ、以後本会会則の基本となった。細則が作成され、評議員・理事の定数や学校種別の会費が明示された。

昭和44年度、事務局を設置し、会長が事務局長を委嘱することになった。（第6・7・12条）尾張・三河・高校の三部交代制が発足した。（内規）

昭和46年度、会の名称を愛知県学校図書館研究会とした。（第1条）

昭和58年度、特殊学校が会員であることを明示した。（第5条）また、必要に応じて、地区・郡・市に支部を置くことができるようになった。（第14条）

会費や関係団体への納入金は細則に定められているが、下記のように改正されて現在に至っている。

### (1) 愛知県学校図書館研究会会費（細則4）

年 度	高等学校	特殊学校	小・中学校	
			7学級以上	6学級以下
S 39	600円		400円	300円
47	900		600	450
50	1,500	700円	900	700
57	2,000	820	1,030	820
H 2	2,600	1,060	1,340	1,060
5	2,900	1,210	1,490	1,210

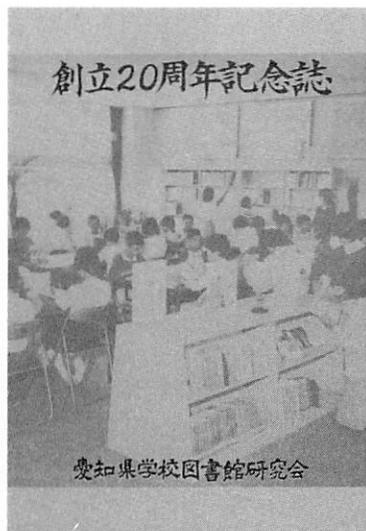
### (2) 愛知図書館協会への納入金（細則5）

年 度	高等学校	特殊学校	小・中学校	
			7学級以上	6学級以下
S 39	200円		120円	100円
47	300		180	150
50	450	230円	270	230
57	700	350	400	350
H 5	1,000	500	550	500

### (3) 全国学校図書館協議会への納入金（細則6）

昭和60年度まで、1校につき30円

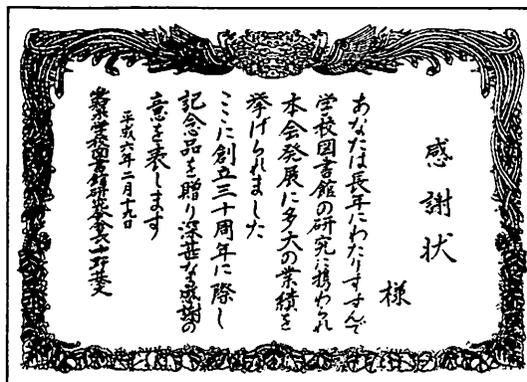
昭和61年度より、1校につき50円



# 愛知県学校図書館研究大会のあゆみ

- 第 1 回 1963年 「教育課程と展開と学校図書館」  
(昭和38年) 豊橋・青陵中、豊田・高岡中、半田・亀崎小、愛知商
- 第 2 回 1964年 「教育課程の展開と学校図書館」  
(昭和39年) 渥美・田原中、岡崎・愛宕小、海部・大治小、明和高
- 第 3 回 1965年 「人間形成に役立つ学校図書館」  
(昭和40年) 豊田市立豊南中学校 (11月13日)
- 第 4 回 1966年 「人間形成をめざす学校図書館」  
(昭和41年) 小牧市立小牧中学校 (11月18日)
- 第 5 回 1967年 「学習活動の中で生きてはたらく学校図書館」  
(昭和42年) 蒲郡市立蒲郡南部小学校 (11月25日)  
※1968年 (昭和43年) 全国学校図書館研究大会名古屋大会
- 第 6 回 1969年 「学習活動に結びついた学校図書館の運営と利用」  
(昭和44年) 中島郡祖父江町立領内小学校 (10月29日)
- 第 7 回 1970年 「学習に結びついた学校図書館の運営と利用」  
(昭和45年) 安城市立安城南中学校 (11月10日)
- 第 8 回 1971年 「教育の現代化にこたえうる学校図書館のあり方」  
(昭和46年) 常滑市市民体育会館 (10月27日)
- 第 9 回 1972年 「情報化社会の人間形成をめざす学校図書館のありかた」  
(昭和47年) 江南市立古知野南小学校 (10月25日)
- 第 10 回 1973年 「情報化社会の中で生涯教育の理念にたつ主体的な学習活動を支える学校図書館のあり方を問い直そう」  
(昭和48年) 豊田市立挙母小学校 (8月22・23日)  
※第16回東海地区学校図書館研究大会
- 第 11 回 1974年 「学校教育の現代的課題にこたえうる学校図書館のあり方」  
(昭和49年) 愛知県立刈谷東高等学校 (10月30日)
- 第 12 回 1975年 「主体的・創造的な人間形成をめざす学校図書館のあり方」  
(昭和50年) 一宮市立神山小学校 (10月20日)
- 第 13 回 1976年 「みずから学ぶ力を養い、豊かな心を育てる学校図書館のあり方」  
(昭和51年) 豊川市立西部中学校 (10月26日)
- 第 14 回 1977年 「ゆとりある学校生活に生かされる学校図書館のあり方」  
(昭和52年) 名古屋市中区役所ホール・名古屋市立中央高等学校 (11月8日)
- 第 15 回 1978年 「ゆとりある学校生活に生かされる学校図書館のあり方」  
(昭和53年) 東海市立大田小学校 (10月19日)
- 第 16 回 1979年 「ゆとりと充実のある学校生活を志向する学校図書館のあり方」  
(昭和54年) 刈谷市立小高原小学校 (10月16日)
- 第 17 回 1980年 「心ゆたかな教育に生かされる学校図書館のあり方」  
(昭和55年) 金城学院高等学校 (10月24日)
- 第 18 回 1981年 「人間性ゆたかな児童、生徒の育成と学校図書館」  
(昭和56年) 津島市立南小学校 (10月22日)
- 第 19 回 1982年 「みずから学ぶ力を養い、豊かな人間性を育てる学校図書館のあり方」  
(昭和57年) 豊橋市立二川小学校 (10月25日)
- 第 20 回 1983年 「児童・生徒の豊かな人間性の育成に資する学校図書館活動を考えよう」  
(昭和58年) 尾張旭市旭野高等学校、旭中学校、旭小学校 (8月19・20日)  
※第21回東海地区学校図書館研究大会

- 第 21 回 1984年 瀬戸市立南山中 (10月15日)  
 (昭和59年) 「みずから学ぶ意欲と豊かな人間性を育てる図書館をつくろう」
- 第 22 回 1985年 岡崎市立連尺小 (10月22日)  
 (昭和60年) 「生涯教育の基盤と豊かな人間性を育てる学校図書館のあり方」
- 第 23 回 1986年 金城学院高 (10月31日)  
 (昭和61年) 「教育の改革にこたえうる学校図書館を考えよう」
- 第 24 回 1987年 犬山市立城東中 (11月 6日)  
 (昭和62年) 「みずから学ぶ力と豊かな人間性を育成する学校図書館のあり方」
- 第 25 回 1988年 蒲郡市立三谷小 (10月28日)  
 (昭和63年) 「みずから学ぶ力と豊かな人間性を育てる学校図書館のあり方」
- 第 26 回 1989年 愛知県中小企業センター (10月27日)  
 (平成元年) 「教育の改革にこたえうる学校図書館の充実を考えよう」
- 第 27 回 1990年 平和町立六輪小 (10月22日)  
 (平成 2年) 「みずから学ぶ力と豊かな人間性を育成する学校図書館のあり方」
- 第 28 回 1991年 安城市立新田小学校 (10月25日)  
 (平成 3年) 「自ら学ぶ意欲と豊かな心を育てる学校図書館」
- 第 29 回 1992年 金城学院高 (10月30日)  
 (平成 4年) 「みずから学ぶ力と国際感覚を育てる学校図書館」
- 第 30 回 1993年 半田市福祉文化会館他 ( 8月24・25日)  
 (平成 5年) 「自ら学ぶ意欲と豊かな心を育てる学校図書館のあり方」
- ※第26回東海地区学校図書館研究大会



# 東海地区学校図書館研究大会のあゆみ

回	開催地	開催年月日	大会の概要
1	愛知県 名古屋市	昭31 6. 9～10	趣旨 東海三県の全研究組織を結集し、飛躍的な振興充実をはかる。 講演「学校図書館の今後の問題」 東京学芸大学長 木下一雄氏
2	三重県 四日市市	昭32 6. 8～9	前回の趣旨を受け、学校図書館の教育的機能を高める道を求める。 講演「子供の糧としての読書」 評論家 坂西志保氏
3	岐阜県 岐阜市	昭33 6. 7～8	「教科学習と学校図書館」「目録活用」など新しいテーマが顔を出す。 講演「読書人一路向上」 国会図書館長 金森徳次郎氏
4	愛知県 豊橋市	昭34 6. 6～7	静岡県が新しく参加。元文部大臣 天野貞祐氏「もの考え方について」 深川恒喜氏の「教育課程と学校図書館」の講演
5	静岡県 静岡市	昭35 6. 4～5	全国S L Aの支援のもとに4講習会がもたれた。 指導講話 鈴木英二氏。 作家 中山義秀氏の「事実と創作」
6	三重県 松阪市	昭36 6. 3～4	「教育課程の実施に役立つ学校図書館」を基底に研究討議された。 指導講話 深川恒喜氏。 講演 臼井吉見氏の「人間と文学」
7	岐阜県 大垣市	昭37 6. 9～10	「教育課程の展開に奉仕する学校図書館」に重点をおく。 指導講話 松尾弥太氏の「資料センター論をめぐって」 講演 吉川幸次郎氏
8	愛知県 一宮市	昭38 6. 1～2	「資料センターとしての学校図書館」が中心題目。 指導講話 文部省 の井沢純氏「今後のS・Lのあり方」 講演「無月の書」奥野信太郎氏
9	静岡県 沼津市	昭39 6. 6～7	「読書生活の実態把握と図書館教育」が研究の中心テーマ。 指導講話 松尾弥太郎氏。講演 明治大学教授 岡正雄氏の「未開人の現代化」
10	三重県 津市	昭40 6. 5～6	学校図書館の真に生きるべき方途を見きわめるのが趣旨。 指導講話 佐藤友彦氏。 講演「人生と読書」 お茶の水女子大学教授 周郷博氏
11	岐阜県 高山市	昭41 7. 1～2	真に人間形成を旨とする学校図書館のあり方について討議する。 指導講話 増村王子氏。 講演「学校図書館当面の問題」 深川恒喜氏
12	静岡県 熱海市	昭42 8. 10～11	転機に立つ学校図書館、読書の教育的意義を再確認。 指導講話 鈴木 英二氏。 講演「仏像の心」 立命館大学教授 梅原猛氏
13	愛知県 名古屋市	昭43 10.31～11. 2	全国大会をかねる。主題「近代化する学校教育の中で期待されるS・L のあり方」 講演「現代社会における芸術」 前京大教授 桑原武夫氏
14	三重県 伊賀上野市	昭44 8. 4～5	教育的機能を発揮するS・Lのあり方を追究する。 指導講話 鈴木 英二氏。 講演「歴史と図書」 前立命館大学教授 林屋辰三郎氏
15	岐阜県 岐阜市	昭46 8. 10～11	テーマ「近代化にこたえる図書館の今日的課題の究明」 指導講話 佐野 友彦氏。 講演「教育問題の現状とその将来」 新日鉄 藤井丙午氏
16	愛知県 豊田市	昭48 8. 22～23	生涯教育の理念に立つ主体的な学習活動を支えるS・Lのあり方がテー マ。指導講話 芦谷清氏。 講演 鈴木光彦氏「情報化社会と教育」
17	静岡県 湖西市	昭50 8. 18～19	テーマ「生涯教育の基礎となるS・L活動のあり方の究明」。 指導講話 佐野友彦氏。 講演「風土と文学」作家 小川国夫氏
18	愛知県 名古屋市	昭52 8. 9～10	主題「学校教育に生きて働く学校図書館のあり方を問い直そう。」 講演「青少年の心と体」 名大教授 内山道明氏
19	三重県 津市	昭54 8. 9～10	「ゆたかな学校生活に果たす学校図書館の役割を実践を通して考えよ う。」 指導講話 佐野友彦氏
20	岐阜県 土岐市	昭56 10. 23～24	「ひとりひとりの児童生徒に自ら学ぶ力を身につけさせ豊かな人間性を 養うための学校図書館活動を究明しよう。」 情報報告 岩田斉氏
21	愛知県 尾張旭市	昭58 8. 19～20	主題「児童生徒の豊かな人間性の育成に資する学校図書館活動を考えよ う。」東海地区優良学校図書館スライド紹介。 情報報告 黒沢浩氏

回	開催地	開催年月日	大会の概要
22	静岡県 静岡市	昭60 8. 9～10	主題「豊かな人間性を育てる学校図書館活動はどうあったらよいか」 講演「科学万能時代に生きる子供たち」那須田稔氏
23	愛知県 名古屋市	昭62 8. 20～21	主題「自ら学ぶ態度を養い、豊かな人間性を育てる学校図書館の活動はどうあるべきか」講演「児童文学作品における子ども像」赤座憲久氏
24	三重県 四日市市	平元 8. 10～21	主題「自ら考え学ぶ力を育てる学校図書館—児童生徒をいきいきと活動させる学校図書館のあり方を求めて—」講演「書物と絵画」陰里鉄郎氏
25	岐阜県 大垣市	平3 8. 8～9	主題「21世紀へ向けての学校図書館—自己教育力の育成と情報化社会への対応」講演「情報化時代と図書館」甲南大学教授 前川恒雄氏
26	愛知県 半田市	平5 8. 24～25	主題「自ら学ぶ意欲と豊かな心を育てる学校図書館のあり方」 講演「南吉と賢治」児童文学作家 浜野卓也氏

## 全国学校図書館研究大会のあゆみ

回	開催地	開催年月日	研究主題・研究の内容	参加者
1	東京	昭25 2. 27～3. 1	・全国研究組織の創立。・学校図書館作りと運営。	名 350
2	京都	昭26 6. 6～18	・研究組織の強化、学校図書館研究方策。・図書館作りと運営。	1,200
3	小田原	昭27 9. 17～19	・学校図書館分類と目録。・学校図書館運営の改善。	1,800
4	大分	昭28 11. 17～19	・学校図書館法制定祝賀大会。・学図運営の研究。・読書指導の方策。	2,200
5	仙台	昭29 10. 14～16	・学習に直結する学校図書館。・読書指導の研究。	2,500
6	徳島	昭30 11. 14～16	・学習能率を高めるための学校図書館の活用。・学校規模に応じた運営。	3,000
7	宇都宮	昭31 11. 14～16	・学習活動を盛んにするためには学校の資料の充実活動をどうするか、他	3,400
8	札幌	昭32 8. 6～8	・件名目録の活用。・読書指導の深化と徹底。・学習に直結する学図。	2,500
9	岡山	昭33 11. 18～20	・教科学習に結びつく学校図書館。・人間形成のための読書と指導法。	3,200
10	東京	昭34 8. 6～8	・司書教諭や学校司書の行政的問題。・教育課程の改訂と図書館資料、他。	4,200
11	大阪	昭35 12. 17～19	・マスコミ時代の読書。・改訂教育課程と読書指導。・資料整理と活用。	3,800
12	新潟	昭36 10. 3～5	・資料センターとしての学図のあり方。・必読書、集団読書の深め方。	2,500
13	松山	昭37 10. 23～25	・教科と結ぶ学校図書館の運営。・学級文庫の運営。・学図とPTA。	2,500
14	成田	昭38 10. 28～30	・教育課程と学校図書館。・発達段階に応じた読書指導。・資料の整理。	2,200

回	開催地	開催年月日	研究主題・研究の内容	参加者
15	鹿児島	昭41 7. 28~30	・教育課程と学校図書館。・資料整理、読書指導。・家庭での読書、他	3,000
16	名古屋	昭43 10.31~11. 2	・教育課程と学校図書館。・資料の組織化。・家庭、社会での読書指導。	2,600
17	山形	昭45 10. 6~ 8	・読書指導とその体系化。・特殊学校、へき地学校の図書館、他。	2,300
18	兵庫	昭47 10.31~11. 2	主題－生涯教育の基礎を培う学校教育の今日的課題にこたえる学校図書館のあり方。・学習指導改善と学図。・人間形成と学図。	3,200
19	東京	昭49 8. 7~ 9	主題－70年代の変ぼうする社会や教育の動きの中で学校教育の現代的課題にこたえ得る学校図書館のあり方。・管理運営、利用、読書指導。	2,500
20	岐阜	昭51 8. 17~19	主題－学校教育の今日的課題にこたえて、みずから学ぶ力を養い、豊かな心を育てる学校図書館のあり方。・資料の組織化、利用、読書指導。	3,000
21	佐賀	昭53 10.31~11. 2	主題－すべての児童生徒に読書の喜びを与え、自ら学ぶ力を育てるため、学校図書館の果たす役割を実践を通して考える。・資料の組織化、他。	2,000
22	盛岡	昭55 8. 18~20	主題－人間性豊かな児童生徒を育てるために、学校図書館はどのような役割を果たさなければならないか。・自ら学ぶ力、ゆとりと学校図書館	2,700
23	伊勢	昭57 8. 4~ 6	主題－ゆとりある教育と学校図書館。・豊かな感性、創造性と読書教育。・生涯教育と学校図書館。・ゆとりある充実した学校生活と学校図書館	3,000
24	山口	昭59 8. 7~ 9	主題－21世紀の教育をひらく学校図書館。・自ら学び自ら考える子どもを育てる。・読書の楽しさ。・魅力ある図書館	3,300
25	那覇	昭61 8. 4~ 6	主題－自ら学ぶ力を育てる学校図書館。・21世紀をひらく教育の創造	2,600
26	札幌	昭63 8. 3~ 5	主題－自己教育力を育てる学校図書館。・学習の改革。・教育の質的向上。・豊かな感性と高い知性	2,500
27	松江	平 2 8. 7~ 9	主題－生涯学習の基礎を培う学校図書館。・自ら学ぶ教育の実現。・高度情報化社会に生きる。・読書教育の理論	2,200
28	福岡	平 4 7. 29~31	主題－学び方の教育を推進する学校図書館。・生涯にわたる自己教育。・メディアの収集。・読書教育の原理	2,500



## 編集後記

本年度愛知県学校図書館研究会は30周年の節目を迎えました。昭和58年に20周年の記念誌を発行して早や10年が経過しました。20周年の時、編集に携った関係で今回も担当させていただくことになり会長さんをはじめ委員の皆さんと会議を重ね、ここに「創立30周年記念誌」を刊行するはこびとなりました。

玉稿をいただきました愛知図書館協会の保田会長さん、「思い出」をお寄せいただきました諸先輩の皆さま方、本当にありがとうございました。編集は「20周年」以後を中心としましたが、最も困ったのは、前回と同様、記録写真が保存されていないことでした。しかし、委員の皆さんの努力と多くの先輩の方々のおかげで、なんとか形を整えることができました。

表紙の写真は、本年度の東海地区学校図書館研究大会半田大会の主会場、半田市福祉文化会館の「どんちょう」としました。東海大会を期に、学校図書館がさらに充実発展することを編集委員一同の願いをこめて採用しました。ありがとうございました。

平成6年2月1日

編集委員長 平手 満 昭

---

### 編 集 委 員

委員長 平手 満昭 (扶桑中長)  
委員 谷口 欣三 (千秋南小長)  
石川 利彦 (半田小長)  
数納 操 (音羽中頭)  
鈴木 伸一 (豊橋東部中諭)  
鈴木 純子 (上地小諭)  
堀内 金清 (瑞陵高諭)  
佐々 頌 (金城高諭)  
林 久男 (山田高諭)  
事務局長 馬場 隆敏 (祖父江中諭)

---

### 愛知県学校図書館研究会30周年記念誌

平成6年2月11日 印刷

平成6年2月17日 発行

編集 愛知県学校図書館研究会記念誌編集委員会  
発行 愛知県学校図書館研究会  
代表者 中野 基文  
事務局 中島郡祖父江町上牧 祖父江中学校内  
印刷 若葉印刷有限公司  
名古屋市北区狼投町26番地 TEL 991-5537

---



知多信局